〔総 説〕

指定感作性物質の国際比較

村上 朋絵^{1,2}, 小山 倫浩¹, 一瀬 豊日¹, 奈良井 理恵^{1,3}, 金岡 麻希^{1,4},
Thi-Thu-Phuong PHAM¹, 川本 俊弘¹

¹産業医科大学 医学部 衛生学講座

²住友金属工業(株) 鹿島製鉄所 総務部 安全健康室

³マツダ株式会社 健康推進センター

⁴九州大学大学院 医学研究院 保健学部門 看護学分野

要 旨： 職業性アレルギーは、原因不明のアレルギー疾患として治療されていることが多い。しかし原因となる感作性物質を同定し、曝露を受けないようにすることが根本的な治療となる。従って、産業医学的な対策として、感作性物質の情報を得ることは重要である。本研究では感作性物質の情報として、日本産業衛生学会、ACGIH、DFG、EU、PRTR法（特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善に関する法律）および日本職業・環境アレルギー学会特設委員会で評価されている感作性物質についてまとめた。感作性、刺激性又は経皮吸収のいずれかを有すると評価されている物質は化合物として括されているものや混合物も含め1389 物質存在した。

キーワード： 感作性物質, アレルギー, 産業医学, PRTR, 国際比較。

(2007年6月6日 受付, 2007年7月30日 受理)

はじめに

職業性アレルギーは、職場環境内に存在する感作性物質に労働者が繰り返し曝露されることで感作が成立し起こるアレルギー疾患である。アレルギー機序は明確にもかかわらず、患者は原因不明のアレルギー疾患として診断をされていることも多い。他のアレルギー疾患と同様に、職業性アレルギーの根本的な治療は原因の除去である。産業医学的な対策として、職業性アレルギーの原因物質を解明し、

作業環境や作業方法を改善するために、感作性物質の情報を利用することが重要である。

感作性物質の情報として現在、日本産業衛生学会、米国産業衛生専門家会議 American Conference of Governmental Industrial Hygienists (ACGIH) ドイツ研究協会 Deutsche Forschungsgemeinschaft (DFG) および欧州連合 European Union (EU) で公表されているものが利用できる。しかし、各機関で感作性物質の評価は異なっており、利用する際には複数の機関の情報を比較しな

くてはならない。従って本研究では、感作性物質について各機関の評価に関する情報をまとめ、一覧表を作成した。なお物質はCAS番号順に並べた。

研究方法

1. 日本産業衛生学会の「許容濃度等の勧告」で提示されている感作性物質 [1], 2. ACGIHで感作性および刺激性があるとされている物質 [2], 3. EUの「危険な物質リスト」で感作性に分類されている物質 [3, 4], 4. DFGで感作性に分類されている物質 [5], 5. 特定化学物質の環境への排出量の把握など、および管理の改善に関する法律 (Pollutant Release and Transfer Register, 以下 PRTR 法) にて気道感作性を有するとされている物質 [6-8], 6. 日本職業・環境アレルギー学会「職業性アレルギー疾患の予防のガイドライン作成」特設委員会によって示された「GHS準拠の感作性化学物質リスト(案)」[9], 以上5機関および一法律で公表されている感作性物質のリストを基に、感作性および刺激性についての一覧表を作成した。なお日本産業衛生学会, ACGIHおよびDFGで経皮吸収が示されている物質についても一覧表に含め、物質はCAS番号順に並べた。

結果および考察

1. 各機関および法律の感作性物質の定義

1) 日本産業衛生学会

「許容濃度等の勧告」(2006年) [1] の中に報告記載されている感作性物質を、反応の場としての気道と皮膚に分けて基準を設け、第1群 (人間に対して明らかに感作性のある物質), 第2群 (人間に対しておそらく感作性があると考えられる物質) に分類している。

気道感作性物質および皮膚感作性物質は以

下のように説明されている。

気道感作性物質

第1群

1. 曝露状況, 呼吸器症状, 特異抗体およびアレルギー素因との関連性を明確に示した疫学的研究があるとともに, 2. 呼吸器症状の有症者としての下記の条件のいずれかを満たす症例研究が, 異なる研究機関から報告されていること。

- 1) 曝露と呼吸器症状との間に関連性があると同時に, 同物質に対する特異抗体が検出されるか, 皮内試験が陽性反応を示すこと。
- 2) 曝露と呼吸器症状との間に関連性があると同時に, 特異的吸入誘発試験で陽性反応を呈すること。ただし, それが非アレルギー反応でないことを間接的にでも支持する証拠があること。

第2群

上記に準ずるものであるが, 疫学的研究では, 必ずしも明確にされていない物質。

皮膚感作性物質

第1群

1. 曝露状況, 接触皮膚炎症状およびパッチテスト (皮膚貼付試験) との関連性を明確に示した疫学的研究があり, かつ, 2. 皮膚炎症状とパッチテストとの関係を検討した症例研究が異なる研究機関から報告されていること, 実施されたパッチテストは対照を設けた適切な方法のものであること。

第2群

上記に準ずるものであるが, 疫学的研究では, 必ずしも明記されていない物質。

さらにこの勧告では, 許容濃度を示す物質の経皮吸収の有無についても評価している。そこで許容濃度等の勧告 (2006 年度) で報告されている感作性物質のみならず経皮吸収の報告がある物質も対象とした。

2) 米国産業衛生専門家会議(ACGIH)

ACGIHから公表された, 2007 年度版「TLVs® & BEIs® Based on the Documentation of the Threshold Limit Values for Chemical Substances and Physical Agents & Biological Exposure Indices (職業曝露における化学物質や物理的因子の許容濃度および生物学的曝露指標)」を使用した[2]. TLVs採用値の表で, 付記(Notations)の欄に「SEN」(当該物質は皮膚接触および/または吸入曝露の結果として, 作業者に感作性が確認されていることを示す)および「Skin」(経皮吸収あり)の表記のある物質および同TableのTLV Basis-Critical Effect(s)(TLV決定の基礎となった重要な作用, 以下TLVの根拠—臨界作用)の欄に, 「sensitization」(感作), 「irritation」(刺激), 「dermatitis」(皮膚炎), 「skin」(皮膚障害), 「asthma」(喘息)の表記のある物質を対象とした.

3) 欧州連合 (EU)

EUから公表された「危険な物質の分類, 輸送, 表示に関する法律, 規制, 行政規定の近似化に関する指令67/548/EEC 2004/73/EC (第7版, 第29次委員会指令)」の「危険な物質リスト」を使用した[4]. EUでは, 感作性物質を以下のように分類している.

R42: 吸入すると感作性を引き起こす恐れがある.

R43: 皮膚と接触すると感作を引き起こす恐れがある.

R42/43: 吸入するおよび皮膚と接触すると感作を引き起こす恐れがある.

「R42」, 「R43」および「R42/43」の表記のある感作性物質を対象とした.

4) ドイツ研究協会(DFG)

DFGから公表された2004 年度版 List of

MAK and BAT Values (MAK:Maximale Arbeitsplatz-Konzentrationen, BAT:Biologischer Arbeitsstoff-Toleranz-Werte, 作業現場環境衛生のための曝露許容濃度勧告値および生物学的曝露指標)を使用した[5]. DFGでは, 感作性物質を以下の5つに分類している.

H :danger of percutaneous absorption (経皮吸収)

Sa :danger of sensitization of the airways (気道感作性)

Sh :danger of sensitization of the skin (皮膚感作性)

Sah:danger of sensitization of the airways and the skin (気道および皮膚感作性)

SP :danger of photocontact sensitization (光過敏性)

これら「H」, 「Sa」, 「Sh」, 「Sah」および「SP」の表記のある感作性物質を対象とした.

5) PRTR法(特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善の促進に関する法律)

PRTR法では, 感作性物質について「感作性は気管などを刺激しアレルギー様症状を起こす性質のことであり, その定性情報を分類に利用することが適当である. なお, 感作性には気道感作性と皮膚感作性があるが, 皮膚感作性については実際の環境濃度では問題になり得ないため, PRTR法では気道感作性のみを対象としている.」と説明している.

PRTR法では上記の定義を基に, 日本産業衛生学会やACGIH, EUに基づき, 気道感作性を有するとされているものを「クラス1」と分類している. 感作性物質として「クラス1」に分類されている物質を対象とした.

6) 日本職業・環境アレルギー学会特設委員会(案)

「職業性アレルギー疾患の予防のガイドライン作成」特設委員会(委員長日下幸則福井大学教授)の中間報告を使用した[9]. この委員会では, GHS (The Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals)の文書は勿論のこととして, 米国のACGIH・AAAI (American Association for Artificial Intelligence)・ドイツのMAKや接触抗原リスト・EUがあげている感作性物質・日本産業衛生学会などが勧告している感作性物質, 日本接触皮膚炎学会のアレルゲン解説書, 中村晋による職業性喘息の原因物質[10], 佐藤一博, 日下幸則による職業性アレルギーの感作性化学物質にあげられる感作性化学物質[11]をすべて検討した結果, 感作性化学物質リスト(案)を作成している.

GHSでは, 呼吸器および皮膚に関する感作性物質を以下のように定義している.

呼吸器感作性物質とは, 物質の吸入の後で気道過敏症を誘発する物質であり, 人に対し当該物質が特異的な呼吸器過敏症を誘発しうる証拠がある場合, または適切な動物実験より陽性結果が得られている場合という判定基準に従って分類している. 同様に, 皮膚感作性物質とは, 物質との皮膚接触の後, アレルギー反応を誘発する物質であり, 物質が相当な数の人に皮膚接触により過敏症を誘発しうる証拠がある場合, または適切な動物試験により陽性結果が得られている場合という判定基準に従って分類している.

2. 感作性物質一覧表

各機関の評価と本研究により作成した感作性物質一覧表の表記への対応をTable 1に示す. 感作性物質項目の一覧表はTable 2に示

す. なお, Table 2中の空欄は感作性(ー)の評価結果を意味するものではない.

前述した5機関および一法律で評価されている物質のうち感作性, 刺激性または経皮吸収のいずれかを有すると言われている物質は化合物として包括されているものや混合物も含め, 1389物質存在した.

日本産業衛生学会, PRTR法で感作性を有するとされている物質の中には, その化合物を含む物質もある(例えば, ニッケル, 白金などの10物質). また機関によって, 感作性を評価している化合物の種類が異なる. 例えば, ニッケルは, 日本産業衛生学会では, ニッケル自体ないしその化合物, PRTR法ではニッケルは金属および無機化合物, DFGでは, 金属, 酢酸ニッケル, 炭酸ニッケルなど11物質が, それぞれ感作性を有する物質として評価されている. よって, Table 2で日本産業衛生学会およびPRTR法, 該当する物質およびその化合物に感作性ありと表記したが, 上記理由により, 他機関で評価されている化合物が数種類ある場合でも個数には数えなかった. 以下機関ごとに, 感作性または経皮吸収を有すると評価されている物質の個数を示す.

日本産業衛生学会の許容濃度等の勧告(2006年度)で, 感作性物質として分類されているものは36物質で, このうち気道感作性物質は18物質(第1群11物質, 第2群7物質), 皮膚感作性物質は30物質(第1群12物質, 第2群18物質)であり, 気道および皮膚感作性をいずれも有しているものは12物質あった. なお経皮吸収を有するものは72物質あった.

ACGIH(2007年度)において, 感作性物質として分類されているのは25物質, 経皮吸収は192物質, TLVの根拠-臨界作用での感作は26物質, 刺激は400物質, 皮膚炎は33物質, 皮膚障害は5物質, 喘息は7物質であった.

DFG(2004年度)では, 皮膚感作性物質と

して分類されているのは145 物質,気道感作性物質は13 物質,皮膚および気道感作性物質は39 物質,光過敏性物質は 4 物質,経皮吸収は239 物質であった。

EUの「危険な物質リスト」で気道感作性物質に分類されているものは26 物質,皮膚感作性は642 物質,気道および皮膚感作性は51 物質であった。

PRTR法対象物質で気道感作性を有するものは16 物質であった。

日本職業環境アレルギー学会(案)で示された感作性物質は59 物質であった。

結 論

日本産業衛生学会, ACGIH, EU, DFG, PRTR法および日本職業・環境アレルギー学会(案)が,感作性,刺激性を有すると評価している物質の一覧表を作成した。

Table 1. 各機関の評価とTable 2 に用いた表記方法

機 関 名(法律名)	機 関 の 評 価	Table 2 の 項 目	Table 2 の 表 記 ^{*6}
日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告(2006 年)	気道感作性物質第1 群	気 道 感 作 性 あ り	○(1)
	気道感作性物質第2 群	気 道 感 作 性 あ り	○(2)
	皮膚感作性物質第1 群	皮 膚 感 作 性 あ り	○(1)
	皮膚感作性物質第2 群	皮 膚 感 作 性 あ り	○(2)
	経皮呼吸	経 皮 呼 吸 あ り	○
ACGIH(2007 年) ^{*1}	Notations	SEN	感 作 性 あ り ○
		Skin	経 皮 呼 吸 あ り ○
	TLVs Basis- Critical Effects(s)	Sensitization Irritation Dermatitis Skin Asthma TLVの根拠—臨界作用	感 作 刺 激 皮 膚 炎 皮 膚 障 害 喘 息
DFG(2004 年) ^{*2}	H	経 皮 呼 吸 あ り	○
	Sa	気 道 感 作 性 あ り	○
	Sh	皮 膚 感 作 性 あ り	○
	Sah	気道及び皮膚感作性あり	○
	SP	光 過 敏 性 あ り	○
EU(2004 年) ^{*3}	R42	気 道 感 作 性 あ り	○
	R43	皮 膚 感 作 性 あ り	○
	R42/43	気道及び皮膚感作性あり	○
PRTR法 ^{*4}	感作性クラス 1	感 作 性 あ り	○
日本職業・環境アレルギー 学会(案)(2004 年) ^{*5}	気道感作のみ報告のあるもの	気 道 感 作 性 あ り	○
	皮膚感作のみ報告のあるもの	皮 膚 感 作 性 あ り	○
	上記以外のもの	感 作 性 あ り	○

* 1 : ACGIH ; (米国産業衛生専門家会議 American Conference of Governmental Industrial Hygienists)

* 2 : DFG ; ドイツ研究協会 Deutsche Forschungsgemeinschaft

* 3 : EU欧州連合 ; European Union

* 4 : PRTR法 ; 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善に関する法律(Pollutant Release and Transfer Register)

* 5 : 「職業性アレルギー疾患の予防のガイドライン作成」特設委員会によるGHS準拠の感作性化学物質リスト(案)

* 6 : 空欄(表記がないこと)が感作性(ー)の評価結果を意味するものではない

Table 2. 感作性物質リスト一覧表

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)				ACGIH (2007)			EU (2004)				DFG (2004)				PRTR		日本産業・環境アレルギー学会(案)(2004)
			経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	経皮吸収あり	感作性あり	TLVの根拠編算作用	気道感作性あり	皮膚感作性あり	気道および皮膚感作性あり	経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	気道および皮膚感作性あり	感作性クラス1	感作性あり			
50-0-0	ホルムアルデヒド	Formaldehyde		○(2)	○(1)		○	刺激		○				○		○				
50-29-3	1,1,1-トリクロロ-2,2-ビス(4-クロロフェニル)エタン【別名 DDT】	DDT(Dichlorodiphenyltrichloroethane)									○									
50-32-8		Benz[a]pyrene								○										
50-53-3	クロルプロマジン	Chlorpromazine														○				
51-18-3	2,4,6-トリリス(1-アジリジン)-s-triazine【別名 Trietamine】	2,4,6-Tris(1-aziridinyl)-s-triazine【別名 Trietamine】															○			
51-75-2	ビス(2-クロロエチル)メチルアミン	N-Methyl-bis(2-chloroethyl)amine【別名 Chlormethine】									○			○						
51-79-6		Carbamic acid ethyl ester									○									
52-51-7	2-ブromo-2-ニトロ-1,3-プロパンジオール	2-Bromo-2-Nitro-1,3-Propanediol									○			○						
52-68-6	ジメチル-2,2,2-トリクロロ-1,1,1-ヘキサフルオロエチルホスホナート【別名 トリクロロホンXはDEP】	Trichlorfon										○								
54-11-5	ニコチン	Nicotine					○							○						
54-64-8	チメロサル【別名 エチル水銀チオサリチル酸ナトリウム塩】	Thimerosal;Ethylmercuri-thiosalicylic acid sodium salt												○						
55-18-5		N-Nitrosodiethylamine												○						
55-38-9	チオリン酸O,O-ジメチル-O-(3-メチル-4-メチルチオ-m-tolyl)チオフェニル【別名 フェンチオン】	O,O-Dimethyl-O-(4-methylthio-m-tolyl)phosphorothioate;Fenthion名 フェンチオン【別名 MPP】					○							○						
55-55-0	メトール【別名 硫酸モノメチルパラアミノフェノール】	Metolol-(Methylamino)phenol sulfate;Bis(4-hydroxy-N-methylanilinium)sulphate														○				
55-63-0	ニトログリセリン	Nitroglycerin (NG)					○									○				
56-18-8	3,3'-イミノビス(プロピルアミン)	3,3'-Iminodipropylamine);dipropylenetriamine														○				
56-23-5	四塩化炭素	Carbon tetrachloride (Tetrachloromethane)【別名 Methane, tetrachloro-】					○									○				

NII-Electronic Library Service

[illegible]

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)	ACGIH (2007)	EU (2004)	DFG (2004)	PRTR	日本職業・環境アレルギー学会(案)(2004)
			経皮吸収あり 気道感作性あり 皮膚感作性あり	経皮吸収あり 感作性あり TLVの根拠一臨界作用	気道感作性あり 皮膚感作性あり	気道および皮膚感作性あり 皮膚感作性あり	感作性 クラス1	気道感作性あり 感作性あり 皮膚感作性のみ報告のあるもの
74-31-7	<i>N,N'</i> -ジフェニル- <i>p</i> -フェニレンジアミン	<i>N,N'</i> -diphenyl- <i>p</i> -phenylenediamine, <i>N,N'</i> -diphenyl-1,4-benzenediamine			○			
74-83-9	臭化メチル【別名 プロモメタン】	Methyl bromide	○	刺激		○	○	
74-87-3	クロロメタン【別名 塩化メチル】	Methyl chloride	○			○	○	
74-88-4	碘化メチル	Methyl iodide	○	刺激				
74-89-5	メチルアミン	Methylamine		刺激				
74-90-8	シアン化水素	Hydrogen cyanide	○	刺激		○	○	
74-96-4	臭化エチル	Ethyl bromide	○					
74-97-5	ブロモクロロメタン【別名, クロロプロモメタン】	Bromochloromethane; Chlorobromomethane				○	○	
75-00-3	クロロエタン【別名 塩化エチル】	Ethyl chloride	○					
75-04-7	エチルアミン	Ethylamine	○	刺激				
75-05-8	アセトニトリル	Acetonitrile	○			○	○	
75-07-0	アセトアルデヒド	Acetaldehyde		刺激				
75-08-1	エチルメルカプタン(エタンチオール)	Ethyl mercaptan		刺激 刺激(粘膜)				
75-09-2	ジクロロメタン【別名 二塩化メチレン】 【別名 塩化メチレン dichloro-】	Dichloromethane (methylene chloride) 【別名 Methane, dichloro-】	○					
75-12-7	ホルムアミド	Formamide	○	刺激		○	○	
75-15-0	二硫化炭素	Carbon disulfide	○					
75-18-3	ジメチルスルフィド	Dimethyl sulfide		刺激				
75-21-8	エチレンオキシド	Ethylene oxide	○(2)					○
75-25-2	トリブロモエタン【別名 ブロモホルム】	Tribromomethane; Bromoform	○	刺激				
75-26-3	2-ブロモプロパン	2-Bromopropane	○					
75-31-0	イソプロピルアミン	Isopropylamine		刺激				
75-34-3	ジクロロエタン (1,1-ジクロロエタン)【別名 塩化ビニリデン】	1,1-Dichloroethane		刺激				
75-44-5	ホスゲン	Phosgene		刺激				
75-50-3	トリメチルアミン	Trimethylamine		刺激				

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)			ACGHH (2007)			EU (2004)			DFG (2004)			PRTR			日本産業・環境アレルギー学会 (案) (2004)		
			経皮吸収	気道感作性	皮膚感作性	経皮吸収	感作性	TLVの超働一臨界作用	気道感作性	皮膚感作性	気道および皮膚感作性	経皮吸収	皮膚感作性	気道および皮膚感作性	感作性クラス1	感作性	気道感作報告のみ	皮膚感作報告のみ	あるもの	あるもの
75-52-5	ニトロメタン	Nitromethane										○								
75-55-8	プロピレンイミン	Propylene imine 【別名: 2-Methylaziridine (Propyleneimine)】	○			○		刺激				○								
75-56-9	酸化プロピレン 【別名: 1,2-エポキシプロパン】	Propylene oxide					○	刺激				○								
75-61-6	ジブロモジフルオロメタン	Difluorodibromomethane						刺激												
75-64-9	tert-ブチルアミン	tert-Butylamine										○								
75-65-0	ブタノール (t-ブチルアルコール)	tert-Butanol						刺激												
75-74-1	四アルキル鉛 (四メチル鉛)	Tetramethyl lead, as Pb 【別名: Lead, organo】	○			○														
75-86-5	アセトンシアノヒドリン	Acetone cyanohydrin, as CN	○			○														
75-99-0	2,2-ジクロロプロピオン酸	2,2-Dichloropropionic acid						刺激												
76-03-9	トリクロロ酢酸	Trichloroacetic acid						刺激												
76-06-2	クロロピクリン 【別名: トリクロロエトキシメタン】	Chloropicrin						刺激												
76-22-2	樟脳	Camphor, synthetic						刺激												
76-44-8	1,4,5,6,7-ペンタクロル-3a,4,7,8a,4',7a'-テトラヒドロー-4,7-(8,8'-dichloromethano)indene; タリインゲン 【別名: ヘプタクロルヘプタクロル】	1,4,5,6,7-Pentachloro-3a,4,7,8a,4',7a'-tetrahydro-4,7-(8,8'-dichloromethano)indene; Heptachlor	○			○		刺激				○								
77-47-4	ヘキサクロロシクロペンタジエン	Hexachlorocyclopentadiene						刺激				○								
77-73-6	ジシクロペンタジエン	Dicyclopentadiene						刺激												
77-78-1	硫酸ジメチル	Dimethyl sulfate	○			○		刺激				○								
78-00-2	四アルキル鉛 (四エチル鉛) (テトラエチル鉛)	Tetraethyl lead, as Pb 【別名: Lead, organo】	○			○		刺激				○								
78-10-4	テトラエトキシシラン	Ethyl silicate																		
78-30-8	リン酸トリ (o-トリル)	Triorthocresyl phosphate	○			○		刺激												
78-34-2	1,4-ジオキサン-2,3-ジイルジチオビス (チオホスホン酸) O,O',O',O'-bis-(phosphorodithioate) ジオキサチオン 【別名: ジオキサチオン】	SS',1,4-Dioxane-2,3-diyl O,O',O',O'-tetraethyl bis-(phosphorodithioate)	○			○														

CAS番号	和名	英名	名	日本産業衛生学会 (2006)			ACGIH (2007)		EU (2004)			DFG (2004)			PRTR		日本職業・環境アレルギー学会(案)(2004)	
				経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	経皮吸収あり	感作性あり	TLVの根拠-臨界作用	気道感作性あり	皮膚感作性あり	気道および皮膚感作性あり	経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	感作性クラス1	感作性あり	気道感作報告のみあるもの
78-59-1	イソホロン	Isophorone							刺激									
78-78-4	イソペンタン	Isopentane							刺激									
78-81-9	イソブチルアミン	Isobutylamine							刺激				○					
78-83-1	ブタノール (イソブチルアルコール)	Isobutanol							刺激									
78-87-5	1,2-ジクロロプロパン	Propylene dichloride	【別名 1, 2-Dichloropropane】			○(2)			刺激									○
78-89-7	2-クロロ-1-プロパノール	2-Chloro-1-propanol					○											
78-92-2	ブタノール (2-ブタノール)	sec-Butanol							刺激									
78-93-3	メチルエチルケトン	Methyl ethyl ketone (MEK)							刺激				○					
78-94-4	メチルビニルケトン	Methyl vinyl ketone					○	○	刺激				○					
78-95-5	クロロアセトン	Chloroacetone					○	○	刺激									
79-00-5	トリクロロエタン (1,1,2-トリクロロエタン)	1,1,2-Trichloroethane		○			○		刺激									
79-04-9	クロロアセチルクロリド	Chloroacetyl chloride					○		刺激				○					
79-06-1	アクリルアミド	Acrylamide					○		皮膚炎		○		○					
79-09-4	プロピオン酸	Propionic acid							刺激									
79-10-7	アクリル酸	Acrylic acid					○		刺激									
79-20-9	酢酸メチル	Methyl acetate							刺激									
79-24-3	ニトロエタン	Nitroethane							刺激									
79-27-6	1,1,2,2-テトラブロモエタン	Acetylene tetrabromide							刺激									
79-34-5	1,1,2,2-テトラクロロエタン【別名 四塩化アモチレン】	1,1,2,2-Tetrachloroethane		○			○		刺激				○					
79-41-4	メタクリル酸	Methacrylic acid							刺激									
79-44-7	ジメチルカルバモイルクロリド	Dimethyl carbamoyl chloride											○					
80-05-7	ビスフェノールA【別名 4,4'-イソプロピリデンジフェノール】	Bisphenol A								○								○
80-51-3	4,4'-オキシビスベンゼンスルホンヒドrazilト	4,4'-Oxybis(benzenesulfonylhydrazide)							刺激									

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)	ACGIH (2007)	EU (2004)	DFG (2004)	PRTR	日本職業・環境アレルギ学会 (案) (2004)
			経皮吸収あり 気道感作用性あり 皮膚感作用性あり	経皮吸収あり 感作用性あり TLVの根拠-感作用性	気道感作用性あり 皮膚感作用性あり	経皮吸収あり 気道感作用性あり 皮膚感作用性あり	感作用性 クラス1	感作用性 感作用性あり 気道感作用性あり 皮膚感作用性あり
80-56-8	α -ピネン(モノテルペン類の一種)	Turpentine[8006-64-2] and selected monoterpene[α -Pinene]	○	○ 刺激				
80-62-6	メタクリル酸メチル	Methyl methacrylate, Methacrylic acid methyl ester	○(2)	○	○	○	○	○
81-84-5	1,8-ナフタル酸無水物	1,8-Naphthalic anhydride				○		
82-68-8	ペンタクロロニトロベンゼン【別名: キントゼン】【別名: PCNB】	Pentachloronitrobenzene [別名: Quinotozene]			○			
83-26-1	2-トリメチルアセチル-1,3-インダンジノン【別名: ピンドン】	2-Pivaloyl-1,3-indandione, Pindone		皮膚炎				
83-79-4	ロテノン	Rotenone (commercial)		刺激		○		
84-66-2	フタル酸ジエチル	Diethyl phthalate		刺激				
84-74-2	フタル酸ジブチル	Dibutyl phthalate	○(2)	刺激				
85-00-7	1,1'-エチレン-2,2'-ビス(4-ピリジン)ジプロミド【別名: ジクアット】【別名: ジクアットプロミド】	1,1'-Ethylene-2,2'-bipyridinium dibromide	○	刺激	○			○
85-42-7	ヘキサヒドロ無水フタル酸(全異性体)	Hexahydrophthalic anhydride, All isomers		○ 感作		○		
85-43-8	テトラヒドロ無水フタル酸	1,2,3,6-tetrahydrophthalic anhydride				○		
85-44-9	無水フタル酸	Phthalic anhydride	○(1)	○ 刺激		○	○	○
86-50-0	ジチオリン酸O,O'-ジメチルS[(4-オキソ-1,2,3-ペンゾトリアジン-3(4H)-イル)メチル]メチル【別名: アゾンホスチル】	Phosphorodithioic acid O,O'-dimethyl S[(4-oxo-1,2,3-benzotriazin-3(4H)-yl)methyl] ester, Azinphos-methyl	○	○	○	○		
86-88-4	1-ナフチルチオ尿素【別名: α -ナフチルチオ尿素】	1-Naphthylthiourea; α -Naphthylthiourea; ANTU		刺激				
87-59-2	キシリジン (2,3-キシリジン) 【別名: 2,3-ジメチルアニリン】	2,3-Xyldine			○			
87-61-6	1,2,3-トリクロロベンゼン	1,2,3-Trichlorobenzene			○			
87-62-7	キシリジン (2,6-キシリジン) 【別名: 2,6-ジメチルアニリン】	2,6-Xyldine [別名: Aniline, 2,6-dimethyl-aniline]			○			

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)			ACGIH (2007)		EU (2004)			DFG (2004)			PRTR		日本職業・環境アレルギー学会(案)(2004)	
			経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	経皮吸収あり	感作性あり	TLVの根拠=職業作用	気道感作性あり	皮膚感作性あり	気道および皮膚感作性あり	経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	感作性クラス1	感作性あり	気道感作報告のみあるもの
37-68-3	六塩化ブタジエン【別名ペルククロ(ブタ-1,3-ジエン)】	Hexachlorobutadiene				○		刺激			○						
37-86-5	ペンタクロロフェノール【別名PCP】およびそのナトリウム塩	Pentachlorophenol	○			○					○						
88-04-0		4-chloro-3,5-dimethylphenol							○		○						
88-12-0	N-ビニル-2-ピロリドン	N-Vinyl-2-pyrrolidone									○						
88-72-2	ニトロトルエン(別名ニトロトルエン)【別名2-ニトロトルエン】	o-Nitrotoluene【別名2-Nitrotoluene; Nitrotoluene】				○					○						
88-73-3	o-クロロニトロベンゼン	o-Chloronitrobenzene									○						
88-88-0	塩化ピクリル	Picryl chloride										○					
88-89-1	ピクリン酸	Picric acid						刺激、皮膚炎、感作			○		○				
89-32-7	無水ピロメリット酸	Benzene-1,2,4,5-tetracarboxylic dianhydride; benzene-1,2,4,5-tetracarboxylic dianhydride; pyromellitic dianhydride								○							
89-72-5	o-sec-ブチルフェニル	o-sec-Butylphenol				○		刺激				○					
90-04-0	o-アニシジン	o-Anisidine			○												
90-30-2	N-フェニル-1-ナフチルアミン	N-Phenyl-1-naphthylamine											○				
91-08-7	トルエンジイソシアネート(2,6-トルエンジイソシアネート)	Toluene-2,6-diisocyanate(TDI)		○(1)	○(2)		○	感作			○	○					○
91-20-3	ナフタレン	Naphthalene				○		刺激			○						
91-29-2		4-Nitro-4'-aminodiphenylamine-2-sulfonic															○
91-59-8	2-ナフチルアミン	β-Naphthylamine									○						
91-94-1	3,3'-ジクロロベンジジンおよびその塩	3,3'-Dichlorobenzidine				○		刺激、皮膚炎			○						
92-52-4	ビフェニル	Biphenyl									○						
92-67-1	4-アミノジフェニル	4-Aminodiphenyl				○					○						
92-84-2	フェノチアジン	Phenothiazine				○		刺激			○						
92-87-5	ベンジジン	Benzidine				○					○						

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)	ACGIH (2007)		EU (2004)		DFG (2004)		PRTR		日本職業・環境アレルギ学会(案)(2004)	
				経皮吸収あり	気道感作用性あり	TLVの燃焼-腐害作用	気道感作用性あり	皮膚感作用性あり	経皮吸収あり	気道感作用性あり	皮膚感作用性あり	気道感作用性あり	皮膚感作用性あり
92-93-3	4-ニトロビフェニル	4-Nitrophenyl		○					○				
93-76-5	2,4,5-トリクロロフェノール	2,4,5-Trichlorophenol				刺激			○				
94-36-0	ジベンゾイルペルオキシシド【別名 過酸化ジベンゾイル】	Dibenzoyl peroxide	○(2)		刺激								○
94-37-1		Bis(piperidinothiocarbonyl) disulphide											
94-75-7	2,4-ジクロロフェノキシ酢酸【別名 2,4-D】	2,4-D (ISO) 2,4-Dichlorophenoxyacetic acid 【別名 2,4-FA】			刺激				○				
95-13-6	インデン	Indene				刺激							
95-33-0	N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド【別名 N-シクロヘキシルベンゾチアゾール-2-スルフェンアミド】	N-Cyclohexyl-2-benzothiazolesulfenamide; CMF; CZ											
95-47-6	o-キシレン	o-Xylene			刺激				○				
95-48-7	o-クレゾール	o-Cresol		○	刺激 皮膚炎				○				
95-49-8	o-クロロトルエン	o-Chlorotoluene			刺激								
95-50-1	o-ジクロロベンゼン	o-Dichlorobenzene			刺激				○				
95-51-2		o-Chloroaniline			刺激				○				
95-53-4	トルイジン(o-トルイジン)	o-Toluidine		○					○				
95-54-5	フェニレンジアミン(o-フェニレンジアミン)	o-Phenylenediamine	○(1)		刺激						○		○
95-64-7	キシリジン(3,4-キシリジン)【別名 3,4-ジメチルアニリン】	3,4-Xylydine							○				
95-68-1	2,4-ジメチルアニリン	2,4-Xylydine							○				
95-69-2	4-クロロ-2-メチルアニリンおよびその塩酸塩	4-Chloro-2-methylaniline and its hydrochloride							○				
95-70-5	2,5-ジアミノトルエン	Toluene-2,5-diamine									○		
95-76-1	3,4-ジクロロアニリン	3,4-Dichloroaniline									○		

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)			ACGIH (2007)		EU (2004)		DFG (2004)			PRTR	日本職業・環境アレルギ 学会(案)(2004)
			経皮 吸収 あり	気道感 作性 あり	皮膚感 作性 あり	経皮 吸収 あり	感作性 あり	TLVの 根拠-臨 界作用	気道感 作性 あり	皮膚感 作性 あり	経皮 吸収 あり	気道感 作性 あり	皮膚感 作性 あり	
95-78-3	2,5-ジメチルアニリン	2,5-Xyldine								○				
95-80-7	2,4-ジアミノトルエン 【別名 2,4-トルエンジ アミン】	2,4-Diaminotoluene 【別名 2, 4-Toluenediamine】						○			○			
96-12-8	1,2-ジプロモ-3-クロロ プロパン	1,2-Dibromo-3-chloro- propane【別名 Dibromochloro- propane】								○				
96-18-4	1,2,3-トリクロロプロ パン	1,2,3-Trichloropropane				○								
96-22-0	ジエチルケトン	Diethyl ketone												
96-23-1		1,3-Dichloro-2-propanol												
96-29-7	ブタノン=オキシム	Butanone oxime						○			○			
96-33-3	アクリル酸メチル	Methyl acrylate,Acrylic acid methyl ester			○(2)		○	○			○			○
96-34-4	クロロ酢酸メチル	Chloroacetic acid methyl ester									○			
97-0-7	1-クロロ-2,4-ジニトロ ベンゼン【別名 2, 4- ジニトロクロロベンゼ ン】	1-Chloro-2,4-dinitro-benzene												○
97-18-7	ピチオノール	Bithionol											○	
97-53-0	o-メトキシ-p-プロ ペニルフェノール	Eugenol										○		
97-54-1	イソイザゲノール	Isoeugenol, 2-Methoxy-4- propenylphenol, 4- Propenylguaiacol,										○		
97-56-3	2-メチル-4-(2-トリル アゾ)アニリン	2-Methyl-4- (2-tolylazo)aniline 【別名 o-Aminozotoluene】						○						
97-63-2	メタクリル酸エチル	Methacrylic acid ethyl ester												
97-74-5	テトラメチルチウラム モノスルフィド	Tetramethylthiuram monosulphide						○				○		
97-77-8	テトラエチルチウラム ジスルフィド【別名 ジスルフィラム】	Tetraethylthiuramdisulfide ;Disulfiram						○						
97-86-9	メタクリル酸 n-ブチル	Isobutyl methacrylate						○						
97-88-1	n-ブチルメタクリラ ート【別名 メタクリル 酸n-ブチル】	n-Butyl methacrylate; n-Butyl-α-methylacrylate						○				○		
97-90-5	エチレングリコールジ メタクリラート	Ethylene Glycol Dimetha- crylate						○					○	

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)	ACGIH (2007)	EU (2004)	DPG (2004)	PRTR	日本職業・環境アレルギ学会(案)(2004)
			経皮吸収あり 気道感作性あり 皮膚感作性あり	経皮吸収あり 気道感作性あり TLVの相乗果作用あり	気道感作性あり 皮膚感作性あり 気道および皮膚感作性あり	経皮吸収あり 気道感作性あり 皮膚感作性あり	感作性クラス1	気道感作報告のみあるもの 皮膚感作報告のみあるもの
98-00-0	フルフリルアルコール	Furfuryl alcohol		刺激				
98-01-1	フルフラール	Furfural		刺激				
98-07-7	ベンゾトリクロリド 【別名: ベンジリジン トリクロリド】	Benzyl trichloride Benzotrichloride		刺激				
98-29-3	<i>p</i> -tert-ブチルカテコール	<i>p</i> -tert-Butylcatechol				○		
98-51-1	<i>p</i> -tert-ブチルトルエン	<i>p</i> -tert-Butyl toluene		刺激				
98-54-4	<i>p</i> -tert-ブチルフェノール	<i>p</i> -tert-Butyl phenol				○		
98-73-7	4-tert-ブチル安息香酸	4-tert-Butylbenzoic acid				○		
98-82-8	クメン	Cumene		刺激		○		
98-88-9	α -メチルスチレン	α -Methyl styrene		刺激 皮膚炎		○		
98-86-2	アセトフェイン	Acetophenone		刺激		○		
98-87-3	塩化ベンゾイル	Benzoyl chloride		刺激		○		
98-88-4	塩化ベンゾイル	Benzoyl chloride		刺激		○		
98-95-3	ニトロベンゼン	Nitrobenzene	○			○		
99-08-1	ニトロトルエン (<i>m</i> -ニ トロトルエン)	<i>m</i> -Nitrotoluene [別名 Toluene, 3-nitro-; Nitrotoluene]	○			○		
99-65-0	1,3-ジニトロベンゼン	1,3-Dinitrobenzene	○			○		
99-99-0	ニトロトルエン (<i>p</i> -ニ トロトルエン) 【別名 4-ニトロトルエン】	<i>p</i> -Nitrotoluene [別名 4- Nitrotoluene, Nitrotoluene]	○			○		
100-00-5	<i>p</i> -ニトロクロロベンゼン	<i>p</i> -Nitrochlorobenzene	○			○		
100-01-6	<i>p</i> -ニトロアニリン	<i>p</i> -Nitroaniline [別名 4- Nitroaniline]	○			○		
100-25-4	1,4-ジニトロベンゼン	1,4-Dinitrobenzene	○			○		
100-37-8	2-(ジエチルアミノ) エタノール	2-Diethylaminoethanol	○	刺激		○		
100-40-3	4-ビニルシクロヘキサ ン	4-Vinyl cyclohexene		刺激				
100-41-4	エチルベンゼン	Ethyl benzene		刺激		○		
100-42-5	スチレン	Styrene, monomer	○	刺激				○

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)	ACGIH (2007)	EU (2004)	DFG (2004)	PRTR	日本職業・環境アレルギー学会 (案) (2004)
			経皮吸収あり 気道感作性あり 皮膚感作性あり	経皮吸収あり 感作性あり TLVの種別・種別作用	気道感作性あり 皮膚感作性あり	気道感作性あり 皮膚感作性あり 経皮吸収あり 気道および皮膚感作性あり	感作性クラス1	気道感作性あり 皮膚感作性あり 報告のみあるもの
100-44-7	塩化ベンジル【別名ベンジルクロリド】	Benzyl chloride		刺激				
100-61-8	N-メチルアニリン	N-Methyl aniline						
100-63-0	フェニルヒドラジン	Phenylhydrazine		皮膚炎				
100-74-3	N-エチルモルホリン	N-Ethylmorpholine		刺激				
100-75-4	N-ニトロソピペリジン	N-Nitrosopiperidine						
100-97-0	ヘキサメチレンテトラミン	Hexamethylenetetramine						
101-14-4	3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン	4,4'-Methylene bis (2-chloroaniline)						
101-27-9	Barban (ISO)	Barban (ISO)						
101-68-8	メチレンビス(4,4'-フェニレン)ジイソシアネート【別名MDI】	Methylene bis(phenyl isocyanate) (MDI) 【別名 Diphenylmethane diisocyanate (4,4'-MDI)】	○(1)	刺激、感作				
101-72-4	N-フェニル-N'-イソプロピルフェニレンジアミン	N-Isopropyl-N'-phenyl-p-phenylenediamine						
101-77-9	4,4'-メチレンジアニリン	4,4'-Methylene dianiline						
101-80-4	4,4'-ジアミノジフェニルエーテル	4,4'-Diaminodiphenyl ether 【別名 4,4'-Oxybisbenzamine】						
101-83-7	ジシクロヘキシルアミン	Dicyclohexylamine						
101-84-8	ジフェニルエーテル	Diphenyl ether; Phenyl ether, vapor		刺激				
101-90-6	1,3-ビス(2,3-エポキシプロピル)ベンゼン	1,3-Bis(2,3-epoxypropoxy)benzene						
102-71-6	トリエタノールアミン	Triethanolamine		刺激				
102-77-2	N-オキシジエチレン-2-ベンゾチアゾール	2-(Morpholinethio) benzothiazole						
102-81-8	2-(ジ-ノルマル-ブチルアミン)エタノール	2-N-Dibutylaminoethanol		刺激				
103-11-7	アクリル酸 2-エチルヘキシル	Acrylic acid, 2-ethylhexyl Ester 【別名 2-Ethylhexyl acrylate, 2-Propenoic acid, 2-ethylhexyl ester, 1-Hexanol, 2-ethylacrylate, 2-Ethylhexylpropenoate, Octyl acrylate】						

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)			ACGIH (2007)			EU (2004)			DFG (2004)			PRTR		日本職業・環境アレルギー学会 (案) (2004)
			経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	経皮吸収あり	感作性あり	TLVの規制一乗作用あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	気道および皮膚感作性あり	経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	感作性クラス1	感作性あり	
103-16-2		Monobenzene															
103-71-9	イソシアナート酸ブエニル	Phenyl isocyanate															
104-54-1		Cinnamyl alcohol, Cinnamic alcohol, 3-Phenyl-2-propen-1-ol															
104-55-2	シナナムアルデヒド	Cinnamaldehyde															
104-78-9	3-(ジエチルアミノ)プロピルアミン	3-aminopropyl diethylamine; N,N-diethyl-1,3-diaminopropane															
104-94-9	p-アニジジン	p-Anisidine															
105-16-8	メタクリル酸2-(ジエチルアミノ)エチル (別名: メタクリル酸ジエチルアミノエチル)	2-(Diethylamino)ethyl methacrylate; DEMA															
105-46-4	酢酸ブチル (酢酸 sec-ブチル)	sec-Butyl acetate															
105-60-2	ε-カプロラクタム (蒸気および粉じん曝露)	Caprolactam (vapor and dust)															
106-24-1	ゲラニオール	Geraniol															
106-35-4	ノルマル-ブチルエチルケトン	Ethyl butyl ketone															
106-42-3	p-キシレン	p-Xylene															
106-44-5	p-クレゾール	p-Cresol															
106-46-7	p-ジクロロベンゼン	p-Dichlorobenzene															
106-47-8	p-クロロアニリン	p-Chloroaniline 【別名: Aniline, 4-chloro-】															
106-49-0	トルイジン(p-トルイジン)	p-Toluidine															
106-50-3	フェニレンジアミン	p-Phenylenediamine (p-フェニレンジアミン)															
106-51-4	p-ベンゾキノ	p-Benzoquinone; Quinone															
106-63-8	アクリル酸イソブチル	Isobutyl acrylate															
106-87-6	4-オキシラニル-1,2-エポキシクロヘキサン	Vinyl cyclohexene dioxide 【別名: 4-Vinylcyclohexene diepoxide】															
106-88-7	1,2-酸化ブチレン	1,2-Butylene oxide 【別名: 1,2-エボキシタン】															

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)			ACGIH (2007)		EU (2004)			DFG (2004)			PRTR		日本職業・環境アレルギー学会(案)(2004)
			経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	経皮吸収あり	感作性あり	TLVの相関-臨界作用	気道感作性あり	皮膚感作性あり	気道および皮膚感作性あり	経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	感作性クラス1	
106-89-8	エピクロロヒドリン	Epichlorohydrin				○	刺激	○			○					
106-90-1		2,3-Epoxypropyl acrylate ; glycidyl acrylate						○								
106-91-2	メタクリル酸2,3-エポキシプロピル【別名グリシジルメタクリレート】	2,3-Epoxypropyl methacrylate; Glycidyl methacrylate						○								
106-92-3	アリルグリシジルエーテル【別名1-アリロキシ-2,3-エポキシプロパン】	Allyl glycidyl ether (AGE) ; 1-Allyloxy-2,3-epoxypropane					刺激、皮膚炎、感作	○								
106-93-4	1,2-ジブロモエタン【別名EDB】	Ethylene dibromide				○	刺激				○					
107-02-8	アクロレイン	Acrolein				○	刺激									
107-05-1	塩化アリル【別名3-クロロプロペン】	Allyl chloride									○					
107-06-2	1,2-ジクロロエタン	1,2-Dichloroethane									○					
107-07-3	エチレンクロロヒドリン	Ethylene chlorohydrin				○	刺激				○					
107-13-1	アクリロニトリル	Acrylonitrile	○			○	刺激、喘息、感作	○		○						
107-15-3	エチレンジアミン	Ethylenediamine	○	○(2)	○(1)	○								○	○	
107-18-6	アリルアルコール	Allyl alcohol	○			○	刺激				○					
107-19-7	2-プロピン-1-オール	Propargyl alcohol				○	刺激				○					
107-20-0	クロロアセトアルデヒド	Chloroacetaldehyde					刺激				○					
107-21-1	エチレンジグリコール	Ethylene glycol					刺激				○					
107-22-2	グリオキサール	Glyoxal				○	刺激	○								
107-30-2	クロロメチルメチルエーテル	Chloromethyl methyl ether					刺激							○		
107-31-3	ギ酸メチル	Methyl formate					刺激									
107-41-5	2-メチル-2,4-ペンタンジオール【別名ヘキシレンジグリコール】	Hexylene glycol					刺激				○					
107-49-3	テトラエチルピロホスファイト【別名TEPP】	Tetraethyl pyrophosphate (TEPP)				○										
107-66-4	リン酸ジ-ノルマル-2-ブチル	Dibutyl phosphate					刺激									
107-75-5	ヒドロキシシトロネラル	Hydroxycitronellal													○	

CAS番号	和名	英名	名	日本産業衛生学会 (2006)			ACGIH (2007)			EU (2004)			DFG (2004)			PRTR		日本職業・環境アレルギー学会(案)(2004)	
				結皮 吸収 あり	気道感 作性 あり	皮膚感 作性 あり	結皮 吸収 あり	感作性 あり	TLVの 根拠-臨 界作用	気道感 作性 あり	皮膚感 作性 あり	気道感 作性 あり	結皮 吸収 あり	気道感 作性 あり	皮膚感 作性 あり	気道感 作性 あり	皮膚感 作性 あり	感作性 あり	気道感作 報告のみ あるもの
107-83-5	ヘキサン, 他の異性体 (2-メチルペンタン) (3- メチルペンタン) (2,3- ジメチルブタン)	Hexane, other isomers																	
107-87-9	メチルプロピルケトン	Methyl propyl ketone																	
107-98-2	プロピレングリコール モノメチルエーテル	1-Methoxy-2-propanol (PGME)																	
108-03-2	1-ニトロプロパン	1-Nitropropane																	
108-05-4	酢酸ビニル	Vinyl acetate																	
108-10-1	メチルイソブチルケト ン	Methyl isobutyl ketone (MIBK)														○			
108-11-2	4-メチル-2-ペンタノール	Methyl isobutyl carbinol														○			
108-18-9	ジイソプロピルアミン	Diisopropylamine																	
108-20-3	イソプロピルエーテル	Isopropyl ether																	
108-21-4	酢酸プロピル (酢酸イ ソプロピル)	Isopropyl acetate																	
108-24-7	無水酢酸	Acetic anhydride																	
108-31-6	無水マレイン酸	Maleic anhydride		○(2)	○(2)			○	刺激、 喘息							○			
108-38-3	m-キシレン	m-Xylene													○				
108-39-4	m-クレゾール	m-Cresol					○		刺激、 皮膚炎						○				
108-42-9	m-クロロアニリン [別 名 3-クロロアニリン]	m-Chloroaniline													○				
108-44-1	トルイジン(m-トルイ ジン)	m-Toluidine					○												
108-45-2	フェニレンジアミン (m- フェニレンジアミン)	m-Phenylenediamine				○(1)			刺激		○		○						○
108-46-3	レゾルシノール	Resorcinol 【別名 1,3-Benzenediol】				○(2)			刺激、 皮膚炎						○				○
108-69-0	3,5-ジメチルアニリン	3,5-Xyldine													○				
108-70-3	1,3,5-トリクロロベン ゼン	1,3,5-Trichlorobenzene													○				
108-77-0	塩化シアヌル	2,4,6-Trichloro-1,3,5-triazine									○								
108-83-8	ジイソブチルケトン	Diisobutyl ketone							刺激										
108-84-9	酢酸 s-ヘキシル 【別名 酢酸 1,3-ジメチ ルブチル】	sec-Hexyl acetate; 1,3-Dimethylbutyl acetate							刺激										

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)			ACGIH (2007)		EU (2004)			DFG (2004)			PRTR		日本職業・環境アレルギー学会(案)(2004)
			経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	経皮吸収あり	感作性あり	TLVの相乗・曝露作用	気道感作性あり	皮膚感作性あり	気道および皮膚感作性あり	経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	感作性クラス1	
108-87-2	メチルシクロヘキサン	Methylcyclohexane					刺激									
108-88-3	トルエン	Toluene	○			○					○					
108-91-8	シクロヘキシルアミン	Cyclohexylamine					刺激									
108-93-0	シクロヘキサノール	Cyclohexanol				○	刺激				○					
108-94-1	シクロヘキサノン	Cyclohexanone				○	刺激				○					
108-95-2	フェノール	Phenol				○	刺激				○					
108-98-5	チオフェノール	Phenyl mercaptan				○	刺激 (眼、皮膚)									
109-16-0	ジメタクリル酸トリエチレングリコール	Triethylene glycol dimethacrylate										○				
109-17-1	ジメタクリル酸テトラエチレングリコール	Tetraethyleneglycol dimethacrylate										○				
109-55-7	3-(ジメチルアミノ)プロピルアミン	3-aminopropyl-dimethylamine, N,N-dimethyl-1,3-diaminopropane						○								
109-59-1	エチレンジグリコールモノイソプロピルエーテル	2-Isopropoxyethanol				○					○					
109-60-4	酢酸プロピル(酢酸 <i>n</i> -プロピル)	<i>n</i> -Propyl acetate					刺激									
109-66-0	ペンタン(ノルマルペンタン)	Pentane, all isomers					刺激									
109-73-9	ノルマル-ブチルアミン	<i>n</i> -Butylamine				○	刺激				○					
109-79-5	1-ブタンチオール	<i>n</i> -Butyl mercaptan					刺激									
109-86-4	エチレンジグリコールモノメチルエーテル 【別名:メチルセロソルブ】	2-Methoxyethanol (EGME)	○			○					○					
109-87-5	メチラール	Methylal					刺激									
109-89-7	ジエチルアミン	Diethylamine				○	刺激									
109-94-4	酢酸エチル	Ethyl formate					刺激				○					
109-99-9	テトラヒドロフラン	Tetrahydrofuran					刺激				○					
110-12-3	5-メチル-2-ヘキサノン	Methyl isoamyl ketone					刺激									
110-19-0	酢酸ブチル(酢酸イソブチル)	Isobutyl acetate					刺激									
110-43-0	メチル-ノルマル-ペンチルケトン【別名:2-ヘプタノン】	Methyl <i>n</i> -amyl ketone					刺激									

NII-Electronic Library Service

CAS番号	和 名	英 名	日本産業衛生学会 (2006)				ACGIH (2007)		EU (2004)				DFG (2004)		PRTR		日本職業・環境アレルギー学会(案)(2004)	
			経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	経皮吸収あり	感作性あり	TLVの根拠-臨界作用	気道感作性あり	皮膚感作性あり	気道および皮膚感作性あり	経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	感作性クラス1	感作性	気道感作報告のみあるもの	皮膚感作報告のみあるもの
111-84-2	ノナン	Nonane, all isomers						刺激, 皮膚障害										
111-96-6	ジエチレングリコールジメチルエーテル	Diethylene glycol dimethyl ether										○						
112-07-2	エチレングリコールモノブチルエーテルアセテート【別名 酢酸 2-ブトキシエチル】	2-Butoxyethyl acetate (EGBEA)						刺激				○						
112-24-3	トリエチレンテトラミン	Triethylenetetramine								○			○					
112-55-0	1-ドデカンチオール	1-Dodecanethiol; Dodecyl mercaptan					○	刺激										
112-57-2	デトラエチレンペンタミン	3,6,9-Triazaundecamethylenediamine								○								
115-29-7	ヘキサクロロヘキサヒドロメタノベンゾジサイキサチン【別名 ベンゾエピド】【別名 エンドスルファン】	Endosulfan				○												
115-32-2	ケルセン	Kerthane; dicofol (ISO)								○								
115-77-5	ペンタエリトリトール	Pentaerythritol						刺激										
115-86-6	リン酸トリフェニル	Triphenyl phosphate						刺激, 皮膚炎										
117-08-8		Tetrachlorophthalic anhydride									○							
117-18-0		Tenazene (ISO)								○								
117-81-7	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)【別名 DEHP】	Di (2-ethylhexyl) phthalate (DEHP)						刺激										
118-48-9		N-Carboxyanthranilic anhydride								○				○				
118-52-5	1,3-ジクロロ-5,5-ジメチルイミダゾリン-2,4-ジオン	1,3-Dichloro-5,5-dimethyl hydantoin						刺激										
118-74-1	ヘキサクロロベンゼン	Hexachlorobenzene				○						○						
118-96-7	トリニトロトルエン【別名 2,4,6-トリニトロトルエン】(全異性体)	2,4,6-Trinitrotoluene (TNT)(and all isomers)	○			○		刺激				○						
119-12-0	チオリン酸O,O-ジエチル-O-(6-オキソ-1-フェニル-1,6-ジヒドロ-3-ピリダジン)【別名 ヒリダジニル】【別名 ヒリダフェンチオン】	O,O-Diethyl O-(6-oxo-1-phenyl-1,6-dihydro-3-pyridazinyl) phosphorothioate 【別名 ヒリダフェンチオン】				○												

日本産業衛生学会 (2006)												
CAS番号	和名	英名	経皮吸収あり			気道感作性あり		皮膚感作性あり		ACGIH (2007)		EU (2004)
			経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	経皮吸収あり	感作性あり	TLVの根拠一臨界作用	気道感作性あり	皮膚感作性あり		
DFG (2004)												
			経皮吸収あり			経皮吸収あり		経皮吸収あり		経皮吸収あり		PRTR
			経皮吸収あり			経皮吸収あり		経皮吸収あり		経皮吸収あり		
日本職業・環境アレルギ学会(案)(2004)												
			経皮吸収あり			経皮吸収あり		経皮吸収あり		経皮吸収あり		PRTR
			経皮吸収あり			経皮吸収あり		経皮吸収あり		経皮吸収あり		
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												
経皮吸収あり												

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)	ACGIH (2007)	EU (2004)	DFG (2004)	PRTR	日本職業・環境アレルギ学会(案)(2004)
			経皮吸収あり	経皮吸収あり 感作性あり TLVの根拠一部系作用	気道感作性あり 皮膚感作性あり	経皮吸収あり 気道および皮膚感作性あり	感作性クラス1	感作性あり 気道感作報告のみあるもの 皮膚感作報告のみあるもの
122-99-6	エチレングリコールモノフェニルエーテル	2-Phenoxyethanol	○					
123-19-3	ジ・ノルマル・プロピル ケトン	Dipropyl ketone		刺激				
123-30-8	p-アミノフェノール	p-Aminophenol			○	○		○
123-31-9	ヒドロキノン	Hydroquinone		皮膚炎	○	○		
123-38-6	プロピオンアルデヒド	Propionaldehyde		刺激				
123-42-2	ジアセトンアルコール	Diacetone alcohol	○	刺激		○		
123-51-3	イソペンチルアルコール【別名イソアミルアルコール】	Isoamyl alcohol		刺激				
123-75-1	ピロリジン	Pyrrolidine				○		
123-77-3	アジノカルボンアミド	C,C'-Azodi (formamide)		刺激				
123-86-4	酢酸ブチル (酢酸n-ブチル)	n-Butyl acetate						
123-91-1	1,4-ジオキサン	1,4-Dioxane	○	刺激		○		
123-92-2	酢酸イソペンチル (酢酸イソアミル) (イソアミルセタート)	Isopentyl acetate(Isoamyl acetate)		刺激				
	酢酸ペンチル【別名酢酸アミル】(全異性体)	Pentyl acetate【別名 Amyl acetate】, all isomers		刺激				
124-04-9	アジピン酸	Adipic acid		刺激				
124-09-4	ヘキサメチレンジアミン【別名1,6-ヘキサジアミン】	Hexamethylenediamine; 1,6-Hexanediamine		刺激				
124-40-3	ジメチルアミン	Dimethylamine		刺激				
126-71-6	リン酸トリ・ノルマル・ブチル	Triisobutyl phosphate		刺激		○		
126-73-8	メタクリロニトリル	Methacrylonitrile	○	刺激	○			
126-98-7	2-クロロ-1,3-ブタジエン	β-Chloroprene	○	刺激		○		
127-00-4	1-クロロ-2-プロパノール	1-Chloro-2-propanol	○	刺激				
127-18-4	テトラクロロエチレン【別名パークロロエチレン】	Tetrachloroethylene; Perchloroethylene	○	刺激				

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)	ACGIH (2007)	EU (2004)	DFG (2004)	PRTR	日本職業・環境アレルギー学会 (家) (2004)
			経皮吸収あり 気道感作性あり 皮膚感作性あり	経皮吸収あり 感作性あり TLVの根拠一級果作用	気道感作性あり 皮膚感作性あり	経皮吸収あり 気道および皮膚感作性あり	感作性クラス1	感作性あり 気道感作報告のみあるもの 皮膚感作報告のみあるもの
127-19-5	N,N-ジメチルアセトアミド	N, N-Dimethylacetamide	○	○	○	○		
127-65-1	トリエンスルホンクロアミドナトリウム三水合物	Tosylchloramide sodium			○			
127-68-4		Sodium 3-nitrobenzenesulfonate			○			
127-91-3	β-ピネン(モノテレピン類の一様)	Turpentine(8006-64-2) and selected monoterpene [β-Pinene]		○ 刺激				
128-37-0	2,6-ジ-tert-ブチル-4-クレゾール	Butylated hydroxytoluene (BHT) [別名 2,6-Di-tert-butyl-p-cresol]		刺激				
129-16-8		Merbromine				○		
129-64-6		8,9,10-trinorborn-5-ene-2,3-dicarboxylic anhydride			○			
131-11-3	フタル酸ジメチル	Dimethylphthalate		刺激				
133-06-2	N-(トリクロロメチルチオ)-1,2,3,6-ジ-tert-ブチル-4-クロロ-2,5-ビス(トリフルオロメチル)フthalimide	Captan [別名 1,2,3,6-tetrahydro-N-(trichloromethylthio)phthalimide]		○ 刺激	○			
133-07-3		Folpet (ISO)			○			
135-88-6	N-フェニル-2-ナフチルアミン	N-Phenyl-β-naphthylamine [別名 N-Phenyl-2-naphthylamine]		刺激	○			
136-23-2	ジブチルジチオカルバミン酸亜鉛	Zinc bis(dibutylthiocarbamate)			○			
136-78-7	2,4-ジクロロフェノキシエチル硫酸ナトリウム	Sesone		刺激				
137-05-3	2-シアノアクリル酸メチル	Methyl 2-cyanoacrylate		刺激、皮膚炎				○
137-17-7		2,4,5-Trimethylaniline				○		
137-26-8	テトラメチルチウラムジスルフィド、Thiram; TMTD; Bis[別名 チウラム] (dimethylthiocarbonyl)disulfide	Tetramethylthiuramdisulfide, Thiram; TMTD; Bis [別名 チウラム] (dimethylthiocarbonyl)disulfide		刺激	○	○		○
137-30-4	ジメチルジチオカルバミン酸亜鉛	Ziram (ISO)			○			
137-42-8	カーバムナトリウム塩	Metam-sodium (ISO)			○			
138-22-7	乳酸ノルマル-ブチル	n-Butyl lactate		刺激				

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)				ACGIH (2007)			EU (2004)			DFG (2004)			PRTR		日本職業・環境アレルギー学会(案) (2004)	
			経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	経皮吸収あり	感作性あり	TLVの相関-臨界作用	気道感作性あり	皮膚感作性あり	気道および皮膚感作性あり	経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	気道および皮膚感作性あり	感作性クラス1	感作性あり	気道感作報告のみあるもの	皮膚感作報告のみあるもの
138-56-3	リモネン	d-Limonene【別名: 1-Methyl-4-(1-methylethenyl)cyclohexene									○				○				
140-11-4	酢酸ベンジル	Benzyl acetate						刺激											
140-31-8	1-(2-アミノエチル)ピペラジン	2-Piperazin-1-ylethylamine								○									
140-88-5	アクリル酸エチル	Ethyl acrylate, Acrylic acid ethyl ester						刺激, 感作		○				○					
141-32-2	アクリル酸ブチル	n-Butyl acrylate, Acrylic acid n-butyl ester			○(2)		○	刺激		○				○					○
141-43-5	2-アミノエタノール	Ethanolamine						刺激						○					
141-66-2	リン酸 (E)-2-ジメチルカルバモイル-1-メチルビニルジメチル phosphate; Dicrotophos 名ジクロトホス	(E)-2-Dimethylcarbamoyl-1-methylvinyl dimethyl phosphate; Dicrotophos				○													
141-78-6	酢酸エチル	Ethyl acetate						刺激											
141-79-7	酸化メシチル	Mesityl oxide						刺激											
142-59-6		Nabam(ISO); disodium ethylenebis (N,N-dithiocarbamate)								○									
142-64-3	ピペラジン二塩酸塩	Piperazine dihydrochloride						刺激, 喘息, 感作											
142-82-5	ヘプタン (ノルマルヘプタン)	Heptane (n-Heptane)						刺激											
143-33-9	シアニ化ナトリウム	Sodium cyanide				○		刺激				○							
144-62-7	シュウ酸	Oxalic acid						刺激											
148-01-6	2-メチル-3,5-ジニトロベンズアミド【別名: ジニトルド】	Dinitolamide						刺激											
148-18-5	N,N-ジエチルジチオカルバミン酸ナトリウム	Sodium diethyldithiocarbamate												○					
149-30-4	2-メルカプトベンゾチアゾール	2-Mercaptobenzothiazole								○				○					
150-76-5	p-メトキシフェノール (4-メトキシフェノール)	4-Methoxyphenol								○									○
151-50-8	シアニ化カリウム	Potassium cyanide				○		刺激				○							
151-56-4	エチレンジイミン	Ethylenimine【別名: Aziridine】				○		刺激, 気管支炎				○							
156-43-4	p-フェネチン	4-ethoxyaniline; p-phenetidine																	

NII-Electronic Library Service

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)			ACGIH (2007)		EU (2004)			DFG (2004)			PRTR	日本職業・環境アレルギー学会(案)(2004)
			経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	経皮吸収あり	感作性あり	TLVの根拠－暴露作用	気道感作性あり	皮膚感作性あり	気道および皮膚感作性あり	経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	
330-54-1	3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素【別名 ジクロロム】 【別名 DCMU】	Diuron													
333-41-5	チオリノ酸O,O-ジエチル-O-(2-イソプロピル-6-メチル-4-セリミジニル)【別名 タイアシノン】	O,O-Diethyl-O-(2-isopropyl-6-methylpyrimidin-4-yl)phosphorothioate; Diazinon	○		○						○				○
334-88-3	ジアゾメタン	Diazomethane													○
353-50-4	弗化カルボニル	Carbonyl fluoride													
373-2-4	酢酸ニッケル(ニッケルおよびニッケル化合物)	Nickel acetate		○(2)	○(1)										
382-21-8	1,1,3,3,3-ペンタフルオロ-2-ロ-2-(トリフルオロメチル)-1-プロペン【別名 PFIB】 【別名 ペルフルオロイソブチレン】	1,1,3,3,3-Pentafluoro-2-trifluoromethyl-1-propene; Perfluoroisobutylene													
399-95-1	4-アミノ-3-フルオロフェノール	4-Amino-3-fluorophenol						○							
420-04-2	シアナミド	Cyanamide						○				○			
460-19-5	ジシアン	Cyanogen										○			
461-96-1	1-ブロモ-3,5-ジフルオロベンゼン	1-Bromo-3,5-difluorobenzene							○						
463-51-4	ケテン	Ketene													
463-82-1	ネオペンタン	tert-Pentane													
471-34-1	炭酸カルシウム	Calcium carbonate													
479-45-8	テトリル	Tetryl											○		
492-80-8	アウラミン	Auramine											○		
505-60-2	ビス(2-クロロエチル)スルファイド【別名 マスタードガス】	Bis(2-chloroethyl) sulfide [別名 Mustard gas]											○		
506-77-4	塩化シアン	Cyanogen chloride													
509-14-8	テトラニトロメタン	Tetranitromethane													
512-56-1	リン酸トリメチル	Trimethyl phosphate											○		
513-79-1	炭酸コバルト	Cobalt(II) carbonate													
514-10-3	アビエチン酸	Abietic acid													○
525-94-0	セファロスポリン N	Cephalosporin N													○

NII-Electronic Library Service

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)	ACGIH (2007)	EU (2004)	DFG (2004)	PRTR	日本職業・環境アレルギー学会(案) (2004)
			経皮吸収あり 気道感作性あり 皮膚感作性あり	経皮吸収あり 感作性あり TLVの根拠二臨床作用	気道感作性あり 皮膚感作性あり	気道感作性あり 皮膚感作性あり 経皮吸収あり	感作性クラス1	感作性あり 気道感作性のみ 経皮のみ あるもの あるもの
563-80-4	イソプロピルメチルケトン	Methyl isopropyl ketone		刺激				
583-60-8	メチルシクロヘキサノン (2-メチルシクロヘキサノン)	o-Methylcyclohexanone	○	刺激				
584-84-9	トルエンジイソシアネート (2,4-トルエンジイソシアネート)	Toluene-2,4-diisocyanate (TDI)	○(1) ○(2)	○ 感作	○	○		○
591-78-6	メチルノルマル-ブチルケトン	Methyl n-butyl ketone	○	○		○		
592-01-8	シアン化カルシウム	Calcium cyanide	○	刺激				
594-42-3	トリクロロメチルスルフェニルクロリド	Perchloromethyl mercaptan		刺激				
594-72-9	1,1-ジクロロ-1-ニトロエタン	1,1-Dichloro-1-nitroethane		刺激				
598-78-7	2-クロロプロピオン酸	2-Chloropropionic acid	○	刺激				
600-25-9	1-クロロ-1-ニトロプロパン	1-Chloro-1-nitropropane		刺激				
603-34-9	トリフェニルアミン	Triphenyl amine		刺激				
612-83-9	3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノビス(4-ジクロロフェニル)エチレンジアミン	Salts of 3,3'-dichlorobenzidine; salts of 3,3'-dichlorobiphenyl-4,4'-ylenediamine			○			
615-05-4	2,4-ジアミノanisole	2,4-Diaminoanisole			○			
615-28-1	o-フェニレンジアミンジクロリド	o-Phenylenediamine dihydrochloride			○			
615-50-9	2,5-ジアミノトルエン硫酸塩	2-Methyl-p-phenylenediamine sulphate			○			
620-11-1	酢酸3-ペンチル	3-Pentyl acetate		刺激				
624-18-0	ベンゼン-1,4-ジアミンジクロリド, p-フェニレンジアミンジクロリド	Benzene-1,4-diamine dihydrochloride, p-phenylenediamine dihydrochloride			○			
624-41-9	酢酸イソペンチル	2-Methylbutyl acetate		刺激				
624-83-9	イソシアナートメチル	Methyl isocyanate	○	刺激、感作		○		○
624-86-2	O-エチルヒドロキシルアミン	O-ethylhydroxylamine			○			
625-16-1	tert-アミルアセテイト (tert-Amyl acetate)	1,1-Dimethylpropyl acetate (tert-Amyl acetate)		刺激				
626-17-5	m-ジシアノベンゼン	m-Phthalodinitrile		刺激				

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)	ACGIH (2007)	EU (2004)	DFG (2004)	PRTR	日本職業・環境アレルギー学会(案) (2004)
			経皮吸収あり 気道感作用性あり 皮膚感作用性あり	経皮吸収あり 感作用性あり TLVの勧奨値 基準値 未作用	気道感作用性あり 皮膚感作用性あり 気道感作用性あり	経皮吸収あり 気道感作用性あり 皮膚感作用性あり	感作用性 クラス1	気道感作用性のみ 報告のみ あるもの あるもの
636-38-0	酢酸2-ペンチル (s-アミルアセテイト)	2-Pentyl acetate (s-Amyl acetate)		刺激				
628-63-7	酢酸ベンチル(酢酸n-アミル)	1-Pentyl acetate (n-Amyl acetate)		刺激				
628-96-6	ニトログリコール	Ethylene glycol dinitrate (EGDN)	○	○		○		
637-92-3	2-エトキシ-2,2-ジメチルエタン	Ethyl tert-butyl ether (ETBE)		刺激				
638-21-1	フェニルホスフィン	Phenylphosphine		刺激、皮膚炎				
680-31-9	ヘキサメチルホスホリクトリアミド	Hexamethyl phosphoramide	○	○		○		
684-16-2	ヘキサフルオロアセトン	Hexafluoroacetone	○	○				
693-21-0	ジエチレングリコールジニترات	Diethylene glycol dinitrate				○		
694-64-4	2,2-エチルメチルthiazolidine	2,2-ethylmethylthiazolidine		○	○			
700-13-0	2,3,5-トリメチルハイドロキノン	2,3,5-trimethylhydroquinone			○			
731-27-1	トリーフアミド (ISO)	Tolylfluamid (ISO)			○			
764-41-0	1,4-ジクロロ-2-ブテン	1,4-Dichloro-2-butene	○	刺激		○		
768-52-5	Nイソプロピルアニリン	N-Isopropylaniline	○	○				
818-61-1	アクリル酸 2-ヒドロキシエチル エステル [別名: Ethylene glycol, acrylate; 2-Hydroxyethyl acrylate; Ethylene glycol monoacrylate; HEA; 2-Propenoic acid 2-hydroxyethyl ester; 2-(Acryloyloxy)ethanol; 2-Propenoic acid, 2-hydroxyethyl ester]	Acrylic acid 2-hydroxyethyl ester [別名: Ethylene glycol, acrylate; 2-Hydroxyethyl acrylate; Ethylene glycol monoacrylate; HEA; 2-Propenoic acid 2-hydroxyethyl ester; 2-(Acryloyloxy)ethanol; 2-Propenoic acid, 2-hydroxyethyl ester]			○	○		
822-06-0	ヘキサメチレン=ジイソシアネート, [別名: ヘキサメチレン-1,6-ジイソシアネート]	Hexamethylene diisocyanate(HDI)	○(1)	刺激、感作用		○	○	○
823-40-5	2-メチル-m-フェニレンジアミン	2-Methyl-m-phenylenediamine			○			
826-62-0	無水エントメチレンテトラヒドロ-3,6-トラヒドロフタル酸	1,2,3,6-Tetrahydro-3,6-methanophthalic anhydride			○			
838-88-0	4,4'-ジアミノ-3,3'-ジメチルジフェニルメタン [(4,4'-Methylenbis(2-methylbenzenamine))]	4,4'-Diamino-3,3'-dimethyldiphenylmethane [(4,4'-Methylenbis(2-methylbenzenamine))]			○			○

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)	ACGIH (2007)	EU (2004)	DPG (2004)	PRTR	日本産業・環境アレルギー学会 (案) (2004)
			経皮吸収あり 気道感作性あり 皮膚感作性あり	経皮吸収あり 感作性あり TLVの相乗効果作用	気道感作性あり 皮膚感作性あり	経皮吸収あり 気道感作性あり 皮膚感作性あり	感作性クラスI	気道感作報告のみあるもの 皮膚感作報告のみあるもの
842-07-9		C.I. Solvent Yellow 14			○			
868-77-9	メタクリル酸2-ヒドロキシエチル [別名 2-ヒドロキシエチルメタクリレート]	Hydroxyethyl methacrylate; 2-HEMA			○	○		○
872-50-4	N-メチル-2-ピロリドン	N-Methyl-2-pyrrolidone	○			○		
919-86-8	メチル-S-ジメチル	Demeton-S-methyl		○				
923-26-2	メタクリル酸2-ヒドロキシプロピル	Methacrylic acid 2-hydroxypropyl ester			○	○		
924-99-2		Ethyl trans-3-dimethylaminoacrylate			○			
930-55-2		N-Nitrosopyrrolidine				○		
935-79-5		cis-1,2,3,6-Tetrahydrophthalic anhydride			○			
944-22-9	O-エチル-S-フェニルエチルホスホノオキソチオナート [別名 ホス]	Fonofos; O-Ethyl S-benylethylphosphonothioate	○					
999-61-1	アクリル酸ヒドロキシプロピル	2-Hydroxypropyl acrylate	○	○ 刺激	○			
1024-57-3	1,4,5,6,7,8-ヘプタクロロ-2,3-エポキシ-3a,4,7,7a-tetrahydro-7-メタノインデン [別名 ヘプタクロロエポキシ]	1,4,5,6,7,8-Heptachloro-2,3-epoxy-3a,4,7,7a-tetrahydro-7-methanindan; Heptachlor epoxide	○	○				
1034-01-1		Octyl 3,4,5-trihydroxybenzoate			○			
1070-70-8	1,4-ブタンジオールジアクリレート	1,4-Butanediol diacrylate			○	○		
1085-98-9	ブリアントール	Dichlorofluoromethylthio-N,N'-dimethyl-N-phenylsulfamide			○			
1116-54-7		N-Nitrosodiphenylamine				○		
1120-71-4	1,3-プロパンスルホン	Propane sulfone [別名 1,3-Propane sulfone]				○		
1134-94-7		2-Phenylthioaniline			○			
1166-52-5	没食子酸ウラリル	Lauryl gallate; dodecyl trihydroxybenzoate			○			
1189-85-1	クロム酸t-ブチル	tert-Butyl chromate, as CrO3	○	刺激				

CAS番号	和名	英名	名	日本産業衛生学会 (2006)				ACGIH (2007)		EU (2004)				DFG (2004)				PRTR		日本職業・環境アレルギー学会(案)(2004)			
				経皮吸収あり	気道感作用あり	皮膚感作用あり	経皮吸収あり	感作用あり	TLVの推奨濃度	気道感作用あり	皮膚感作用あり	気道感作用あり	経皮吸収あり	皮膚感作用あり	気道感作用あり	皮膚感作用あり	経皮吸収あり	感作用あり	感作用あり	感作用あり	感作用あり	感作用あり	感作用あり
1300-73-8	キシリジン		Xylidine (mixed isomers)				○																
1302-74-5	エメリー		Emery					刺激															
1303-86-2	三酸化二ホウ素		Boron oxide					刺激															
1303-96-4	ホウ酸ナトリウム(十水和物)		Borates, tetra, sodium salts, Decahydrate					刺激															
1304-56-9			Beryllium oxide				○																
1304-82-1	テルルおよびその化合物(テルル化ビスマス; Undope)		Bismuth telluride, Undoped, as Bi ₂ Te ₃					刺激															
1304-82-1	テルルおよびその化合物(テルル化ビスマス; Se-doped)		Bismuth telluride, Se-doped, as Bi ₂ Te ₃					刺激															
1305-62-0	水酸化カルシウム		Calcium hydroxide					刺激															
1305-78-8	酸化カルシウム		Calcium oxide					刺激															
1306-19-0	酸化カドミウム		Cadmium oxide										○										
1306-23-6	硫化カドミウム		Cadmium sulfide										○										
1307-96-6	酸化コバルト(II)		Cobalt(II) oxide																				
1308-06-1	四酸化三コバルト		Cobalt(II, III) oxide																				
1309-48-4	酸化マグネシウム(ヒューム)		Magnesium oxide (fume)					刺激															
1310-58-3	水酸化カリウム		Potassium hydroxide					刺激															
1310-73-2	水酸化ナトリウム		Sodium hydroxide					刺激															
1313-99-1	一酸化ニッケル(ニッケルおよびニッケル化合物)		Nickel monoxide				○(2)	○(1)															
1314-06-3	ニッケル三二酸化物(ニッケルおよびニッケル化合物)		Nickel sesquioxide				○(2)	○(1)															
1314-13-2	酸化亜鉛		Zinc oxide, Fume																				
1314-13-2	酸化亜鉛		Zinc oxide, Dust																				
1314-61-0	酸化物タンタル		Tantalum oxide, dusts, as Ta																				
1314-62-1	五酸化バナジウム		Vanadium pentoxide, as V ₂ O ₅ , Respirable dust or fume																				
1314-80-3	硫化リン(五硫化リン)		Phosphorus pentasulfide																				
1317-42-6	硫化コバルト		Cobalt(II) sulfide																				
1319-77-3	クレゾール(全異性体)		Cresol, all isomers				○																

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)				ACGIH (2007)		EU (2004)		DFG (2004)		PRTR		日本職業・環境アレルギー学会(案)(2004)	
			経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	経皮吸収あり	感作性あり	TLVの根拠-臨界作用	気道感作性あり	皮膚感作性あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	感作性クラス1	感作性あり	感作性あり	皮膚感作性のみ報告のみあるもの
1321-23-9		Chloroxylenol														
1321-64-8	ペンタクロロナフタレ	Pentachloronaphthalene				○			○							
1321-65-9	トリクロロナフタレン	Trichloronaphthalene				○										
1321-74-0	ジビニルベンゼン	Divinyl benzene						刺激								
1330-20-7	キシレン (o-, m-, p-異性体)	Xylene						刺激							○	
1330-43-4	ボウ酸ナトリウム (無水物) 【別名 ボウ砂】	Borates, tetra, sodium salts, anhydrous						刺激								
1333-82-0	クロム (IV) 三酸化物	Chromium(IV) trioxide									○					
1335-87-1	ヘキサクロロナフタレ	Hexachloronaphthalene				○										
1336-36-3	塩素化ビフェニル【別名PCBs】 【ポリ塩化ビフェニル】	Polychlorinated biphenyls (PCBs)	○													
1338-23-4	エチルメチルケトンペルオキシド	Ethyl methyl ketone peroxide						刺激								
1344-28-1	酸化アルミニウム	Aluminum oxide						刺激								
1344-95-2	ケイ酸カルシウム (合成)	Calcium silicate (synthetic)						刺激								
1395-21-7	サチライシン(ブクリン, 蛋白分解酵素)	Subtilisins, as crystalline active enzyme BPN						刺激, 感作			○					
1477-55-0	m-キシレンジアミン【別名 m-キシレン- α , α' -ジアミン】	m-Xylene α , α' -diamine				○		刺激								
1484-13-5		Vinylcarbazol								○						
1565-94-2	ビスフェノールAジグリシルメタクリレート	Bisphenol A diglycidyl methacrylate								○		○				
1582-09-8	トリフルラルイン	Trifluralin (ISO)								○						
1589-47-5		Propylene glycol 2-methyl ether										○				
1638-05-7		2,7,11-trimethyl-13-(2,6,6-trimethylcyclohex-1-en-1-yl)tridecahexaen-2,4,6,8,10,12-al								○						
1663-39-4	アクリル酸 t-ブチル	tert-Butyl acrylate								○						
1675-54-3	ビスフェノールA ジグリシルエーテル	Bisphenol A diglycidyl ether 【別名 2,2'-bis(4-(2,3-epoxypropoxy)phenyl)propane】								○					○	

日本産業衛生学会 (2006)			ACGIH (2007)			EU (2004)			DFG (2004)			PRTR		日本職業・環境アレルギー学会(案)(2004)		
CAS番号	和名	英名	経皮吸収	気道感作性	皮膚感作性	経皮吸収	感作性	TLVの根拠-曝界作用	気道感作性	皮膚感作性	気道感作性	経皮吸収	気道感作性	皮膚感作性	感作性	
			あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
1680-21-3	トリエチレングリコールジアクリレート	Triethylene glycol diacrylate; TEGDA														
1689-84-5		Bromoxynil (ISO) and its salts														
1689-99-2		Bromoxynil octanoate (ISO)														
1698-60-8		Chloridazon (ISO)														
1746-01-6	2,3,7,8-テトラクロロジベンゾ-f-1,4-ジオキシン	2,3,7,8-Tetrachlorodibenzo-[1,4]-dioxin														
1817-47-6		p-Nitrocumene														
1854-23-5		4,4'-(2-Ethyl-2-nitro-1,3-propanediyl)bis-morpholine														
1854-26-8		Dimethylol dihydroxy ethylene														
1897-41-2		1,4-Dicyano-2,3,5,6-tetrachloro-benzene														
1897-45-6	クロロタロニル	Chlorothalonil (TPN)														
1910-42-5	1,1'-ジメチル-4,4'-ビピリジニウムジクロライド【別名:パラコート】 【別名:ハラコートジクロライド】	1,1'-Dimethyl-4,4'-bipyridinium dichloride 名Paraquat【別名】Paraquat dichloride														
1912-24-9	2-クロロ-4-エチルアミノ-6-イソプロピルアミン-1,3,5-トリアジン【別名:アトラジン】	Atrazine						刺激								
1918-16-7		Propachlor (ISO)														
1943-82-4		2-Phenylethylisocyanate														
1979-07-2		2-Chloracetamide														
2051-79-8		N,N,5-Diethyltoluene-2,5-diamine monohydrochloride; 4-diethylamino-2-methylaniline monohydrochloride														
2082-81-7		1,4-Butanediol demethacrylate														
2094-99-7		2-(3-(Prop-1-en-2-yl)phenyl)prop-2-yl isocyanate														

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)	ACGIH (2007)	EU (2004)	DFG (2004)	PRTR	日本職業・環境アレルギー学会 (案) (2004)
			経皮吸収あり 気道感作性あり 皮膚感作性あり	経皮吸収あり 感作性あり TLVの相乗-鑑界作用	気道感作性あり 皮膚感作性あり	経皮吸収あり 気道感作性あり 皮膚感作性あり	感作性クラスI	感作性あり 気道感作報告のみあるもの 皮膚感作報告のみあるもの
2104-64-5	エチル・パラ・ニトロフェニルチオノベンゼンホスホネイト【別名 O-エチルO-4-ニトロフェニルチオノベンゼンホスホネイト】【別名 PNI】	BPN ; O-Ethyl O-4-nitrophenyl phenyl phosphonothioate	○	○				
2109-22-0		2-Cyclohexylpropanal			○			
2179-59-1	アリルプロピルジスルフィド	Allyl propyl disulfide		○ 刺激				
2186-24-5		[(p-tolyl)oxy]Methyl]oxirane		○	○			
2186-25-6		[(m-tolyl)oxy]Methyl]oxirane		○	○			
2210-79-9		2,3-Epoxypropyl o-tolyl ether		○	○			
2212-67-1	モリネート	Molinate (ISO)		○	○			
2223-82-7	ネオペンチルグリコールジアクリレート	2,2-Dimethyltrimethylene diacrylate; neopentyl glycol diacrylate		○	○			
2224-44-4		4-(2-Nitrobutyl) morpholine				○		
2234-13-1	オクタクロロナフタレン	Octachloronaphthalene	○	皮膚炎				
2238-7-5	ビス(2,3-エポキシプロピル)エーテル【別名 ジグリシジルエーテル】	Bis(2,3-Epoxypropyl)ether		刺激	○			
2243-62-1	1,5-ジアミノナフタリン	1,5-Naphthalenediamine				○		
2303-17-5		Tri-allate (ISO)			○			
2338-84-1		Diethylene glycol dimethacrylate				○		
2380-86-1		6-Hydroxyindole			○			
2425-06-1	N-(1,1,2,2-テトラクロロエチル)チオクロロヘキス-4-エン-1,2-ジカルボキシミド; Captafol【別名 カプタフォル】	N-(1,1,2,2-Tetrachloroethylthio) cyclohex-4-ene-1,2-dicarboximide; Captafol	○	皮膚炎, 感作	○			
2425-79-8		1,4-Bis(2,3-epoxypropoxy)butane; butanediodiglycidyl ether			○			
2426-02-0		3,4,5,6-Tetrahydrophthalic anhydride				○		

CAS番号	和 名	英 名	日本薬学衛生学会 (2006)	ACGIH (2007)	EU (2004)	DFG (2004)	PRTR	日本職業・環境アレルギー学会 (案) (2004)
			経皮吸収あり 気道感作性あり 皮膚感作性あり	経皮吸収あり 感作性あり TLVの根拠一審界作用	気道感作性あり 皮膚感作性あり	気道感作性あり 皮膚感作性あり	感作性クラス1	気道感作報告のみあるもの 感作性あり
2426-08-6	ノルマル-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル	n-Butyl glycidyl ether (BGE)		刺激、感作	○	○		
2431-50-7		2,3,4-Trichloro-1-butene						
2439-01-2	6-メチル-1,3-ジチオロ[4,5-b]キノキサリン-2-オン 【別名 キノキサチオンネートまたはチノスチオナット】	6-Methyl-1,3-dithio[4,5-b]quinoxalin-2-one; Quinomethionate			○	○		
2451-62-9	1,3,5-トリス(2,3-エポキシプロピル)-1,3,5-トリアジン-2,4,6(1H,3H,5H)-トリオン	1,3,5-Triglycidyl-s-triazinetrione		皮膚炎、感作	○			
2455-24-5	メタクリル酸テトラヒドロフルフル	Tetrahydrofurfuryl methacrylate; THFMA				○		
2465-27-2		Auramine hydrochloride				○		
2475-45-8	1,4,7,8-テトラアミノアントラキノン 【別名 ジスパーズブルー1】	1,4,7,8-Tetraaminoanthraquinone 【別名 Disperse Blue 1】			○			
2499-95-8		Hexyl acrylate			○			
2527-58-4	2,2'-ジチオビス	2,2'-Dithiobis(N-methylbenzamide)			○	○		
2528-36-1	リン酸ジ-ノルマル-ブチルフェニル	Dibutyl phenyl phosphate	○	刺激				
2536-05-2		2,2'-methylenediphenyl diisocyanate; diphenylmethane-2,2'-diisocyanate			○			
2551-13-7	トリメチルベンゼン	Trimethyl benzene (mixed isomers)		刺激				
2633-67-2		Styrene-4-sulfonyl chloride			○			
2634-33-5	1,2-ベンゾイソチアゾール-3(2H)-オン	1,2-Benzisothiazol-3(2H)-one			○	○		
2682-20-4	2-メチル-2,3-イソチアゾリン-3-オン	2-Methyl-2,3-dihydroisothiazol-3-one				○		
2687-96-9		1Dodecyl-2-pyrrolidone			○			
2698-41-1	o-塩化ベンジリデンマロン酸二トリル	o-Chlorobenzylidene malononitrile	○	刺激				
2699-79-8	弗素およびその水溶性無機化合物 (フッ化スルフル)	Sulfonyl fluoride		刺激				

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)				ACGIH (2007)		EU (2004)			DFG (2004)		PRTR		日本職業・環境アレルギー学会(案) (2004)	
			経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	経皮吸収あり	感作性あり	TLVの根拠一価暴露作用	気道感作性あり	皮膚感作性あり	気道および皮膚感作性あり	経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	感作性クラス1	感作性あり	気道感作報告のみあるもの
2746-19-2		(1 α , 2 α , 3 β , 6 β)-1,2,3,6-Tetrahydro-3,6-methanophthalic anhydride									○						
2761-09-3	メタクリル酸 3-ヒドロキシプロピル	Methacrylic acid 3-hydroxypropyl ester								○							
2764-72-9	ジクアット	Diquat				○		刺激									
2788-74-1		4-Ethylamino-3-nitrobenzoic acid								○							
2807-30-9		Ethylene glycol mono-n-propyl ether										○					
2832-19-1		Chloroacetamide-N-methylol											○				
2832-40-8		C.I. Disperse Yellow 3															
2855-13-2	イソホロンジアミン	3-Aminomethyl-3,5,5-trimethyl-cyclohexylamine (Isophorone diamine)								○							
2867-47-2	メタクリル酸 2-(ジメチルアミノ)エチル【別名: メタクリル酸ジメチルアミノエチル】	2-(Dimethylamino)ethyl methacrylate; DMAEMA								○							
2918-23-2	アクリル酸ヒドロキシプロピル	1-Hydroxypropyl acrylate								○							
2921-88-2	チオリノ酸 O,O'-ジエチル-O-(3,5,6-トリクロロ-2-ピリジル)-2-ヒリシル【別名: クロピリホス】	O,O'-Diethyl-O-(3,5,6-trichloro-2-pyridyl)phosphorothioate; Chlorpyrifos				○											
2971-90-6	3,5-ジクロロ-2,6-ジメチル-4-ヒリジノール【別名: クロピドール】	Clopidol						刺激									
2997-92-4	2,2'-アゾビス(2-アミノジノプロパン)二塩酸塩	2,2'-Azobis[2-methylpropanimidine] dihydrochloride								○							
3033-62-3	ビス(2-ジメチルアミノエチル)エーテル	Bis (2-dimethylaminoethyl) ether (DMAEE)				○		刺激									
3033-77-0		Glycidyl trimethylammonium chloride										○					○
3173-72-6	ナフタレン-1,5-ジイソシアナート	1,5-Naphthalene diisocyanate							○				○				
3333-52-6	テトラメチルコハク酸ニトリル	Tetramethyl succinonitrile				○						○					
3333-67-3	炭酸ニッケル(ニッケルおよびニッケル化合物)	Nickel carbonate				○(2)	○(1)										○

NII-Electronic Library Service

NII-Electronic Library Service

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)	ACGIH (2007)	EU (2004)	DFG (2004)	PRTR	日本職業・環境アレルギー学会(案) (2004)
			経皮吸収あり 気道感作用性あり 皮膚感作用性あり	経皮吸収あり 感作用性あり TLVの概算一級作用	気道感作用性あり 皮膚感作用性あり	経皮吸収あり 気道感作用性あり 皮膚感作用性あり	感作用性クラス1 感作用性 感作用性	気道感作用報告のみあるもの 感作用性 感作用性
6385-62-2	ジカアット	Diquat	○	刺激				
6423-43-4	二硝酸プロピレン	Propylene glycol dinitrate	○					
6440-58-0	1,3-ジメチロール-5,5-ジメチルヒダントイン	1,3-Dimethylol-5,5-dimethylhydantoin			○	○		
6613-44-1		3,5-Dimethylbenzoyl chloride			○			
6923-22-4	リン酸ジメチル(E)-1-メチル-3-メチル-3-メチルアミノ-3-オキシ-1-プロパントホス【別名 モノクロトホス】 【別名 リン酸ジメチル(E)-1-メチル-2-(メチルカルバモイル)ビニル】	Dimethyl (E)-1-Methyl-3-methylamino-3-oxo-1-propenyl Phosphate; Monocrotophos; Dimethyl (E)-1-Methyl-2-(methylcarbamoyl)vinyl phosphate	○					
7027-11-4		3-Cyano-3,5,5-trimethylcyclohexanone			○			
7085-85-0	2-シアノアクリル酸エチル	Ethyl cyanoacrylate		刺激				
7429-90-5	アルミニウム(金属粉じん)	Aluminum and compounds, as Al, metal dust		刺激				
	アルミニウム(水溶性塩類)	Aluminum and compounds, as Al, soluble salts		刺激				
	アルミニウム(アルキル化合物(NOS))	Aluminum and compounds, as Al, alkyls(NOS)		刺激				
7439-97-6	水銀およびその無機化合物	Mercury elemental and inorganic compounds, as Hg	○(1)			○		○
7439-98-7	モリブデンおよびその化合物(可溶性化合物)	Molybdenum soluble compounds, as Mo		刺激				
7440-02-0	ニッケルおよびその化合物(ニッケル)	Nickel, elemental, as Ni	○(2)	皮膚炎	○	○	○	○
	ニッケルおよびその化合物(可溶性無機化合物)	Nickel, soluble inorganic compounds, as Ni (NOS)	○(2)	刺激, 皮膚炎			○	
	ニッケルおよびその化合物(不溶性無機化合物)	Nickel, insoluble inorganic compounds, as Ni (NOS)	○(2)	刺激, 皮膚炎				
	ニッケルおよびその化合物(有機化合物)	Nickel and its compounds(organic compounds)	○(2)					
7440-05-3	ニッケル合金	Nickel alloys				○	○	○
7440-06-4	パラジウム	Palladium						
	白金化合物	Platinum compounds	○(1)			○		
7440-6-4	白金(金属白金)	Platinum, Metal	○(1)	刺激		○	○	○

指定感作性物質の国際比較

345

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)	ACGIH (2007)	EU (2004)	DFG (2004)	PRTR	日本職業・環境アレルギー学会(案)(2004)
			経皮吸収あり 気道感作性あり 皮膚感作性あり	経皮吸収あり 感作性あり TLVの相乗・臨界作用	気道感作性あり 皮膚感作性あり	経皮吸収あり 気道感作性あり 皮膚感作性あり	感作性クラス1	気道感作報告のみあるもの 皮膚感作報告のみあるもの
7440-06-4	白金 (可溶性塩)	Platinum, soluble salts, as Pt	○(1)	○(1)		○	○	
7440-16-6	ロジウムおよびその化合物 (ロジウム金属および不溶性化合物)	Rhodium, metal and insoluble compounds, as Rh						○
7440-25-7	タンタル	Tantalum						
7440-28-0	タリウムおよびその水溶性化合物	Thallium, and soluble compounds, as Tl		○				
7440-31-5	すずおよびその化合物 (有機化合物)	Tin, organic compounds, as Sn		○		○		
7440-33-7	タングステン難溶性化合物	Tungsten, metal and insoluble compounds, as W						
7440-36-0	アンチモンおよびその化合物	Antimony & compounds, as Sb						
7440-39-3	バリウムおよびその水溶性化合物	Barium and soluble compounds, as Ba						
7440-41-7	ベリリウムおよびその化合物	Beryllium and compounds, as Be	○(1)	○(2)	○	○	○	○
7440-43-9	カドミウムおよびその無機化合物	Cadmium and its inorganic compounds				○		
7440-47-3	クロムおよびその化合物 (金属クロムおよびクロム (III) 化合物)	Chromium and inorganic compounds, as Cr, metal and Cr(III) compounds	○(2)	○(1)			○	○
	クロムおよびその化合物 (クロム (VI) 水溶性化合物)	Chromium and inorganic compounds, as Cr, water-soluble Cr(VI) compounds	○(2)	○(1)	○	○	○	
	クロムおよびその化合物 (クロム (VI) 難溶性化合物)	Chromium and inorganic compounds, as Cr, insoluble Cr(VI) compounds	○(2)	○(1)	○		○	
7440-48-4	酸化クロム(IV)	Chromium(IV) oxide						
	コバルトおよびその無機化合物	Cobalt and inorganic compounds, as Co	○(1)	○(1)	○	○	○	○
	コバルト合金	Cobalt alloys						
7440-50-8	銅およびその化合物 (fume)	Copper fume, as Cu		○(2)			○	
7440-50-8	銅およびその化合物 (dusts & mists)	Copper dusts & mists, as Cu		○(2)				
7440-50-8	銅およびその化合物	Copper		○(2)				○
7440-58-6	ハフニウムおよびその化合物	Hafnium and compounds, as Hf			○			

NII-Electronic Library Service

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)				ACGIH (2007)		EU (2004)				DFG (2004)		PRTR	日本職業・環境アレルギー学会 (案) (2004)	
			経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	経皮吸収あり	感作性あり	TLVの根拠-種別作用	気道感作性あり	皮膚感作性あり	気道および皮膚感作性あり	経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり		感作性あり	気道感作報告のみあるもの
7747-35-5	5-Ethyl-3,7-dioxo-1-azabicyclo [3.3.0] octane(EDAO)																○
7758-97-6	クロムおよびその化合物 (クロム酸鉛:クロムとして)	Lead chromate, as Cr		○(2)	○(1)												
7773-06-0	アミド硫酸アンモニウム	Ammonium sulfamate					刺激										
7775-11-3	クロム酸ナトリウム無水物	Sodium chromate									○						
7778-18-9	硫酸カルシウム	Calcium sulfate					刺激										
7778-50-9	クロム酸カリウム(II)	Potassium dichromate									○						
	弗素およびその水溶性無機化合物 (フッ素化合物)	Fluorides, as F					刺激										
7782-41-4	弗素およびその水溶性無機化合物(フッ素)	Fluorine					刺激										
7782-49-2	セレンおよびセレン化合物	Selenium and compounds, as Se					刺激										
7782-50-4	塩素	Chlorine					刺激										
7783-06-4	硫化水素	Hydrogen sulfide					刺激										
7783-07-5	セレンおよびセレン化合物 (セレン化合物)	Hydrogen selenide, as Se					刺激										
7783-41-7	弗素およびその水溶性無機化合物(二フッ化酸素)	Oxygen difluoride					刺激										
7783-60-0	四フッ化硫黄	Sulfur tetrafluoride					刺激										
7783-80-4	六フッ化テトラフル	Tellurium hexafluoride					刺激										
7786-34-7	リン酸ジメチル-メトキシカルボニル-1-プロペン-2-イル【別名:メビンホス】	Dimethyl 1-Methoxycarbonyl-1-propen-2-yl phosphate:Mevinphos				○						○					
7786-81-4	硫酸ニッケル(ニッケルおよびニッケル化合物)	Nickel sulfate		○(2)	○(1)						○						○
7789-00-6	クロム酸カリウム	Potassium chromate									○						
7789-06-2	クロムおよびその化合物 (クロム酸ストロンチウム)	Strontium chromate, as Cr		○(2)	○(1)												
7789-08-5	クロム酸アンモニウム(II)	Ammonium dichromate									○						

CAS番号	和 名	英 名	日本産業衛生学会 (2006)			ACGIH (2007)			EU (2004)			DFG (2004)			PRTR		日本職業・環境アレルギ学会(案)(2004)
			経皮 吸収 あり	気道感 作用性 あり	皮膚感 作用性 あり	経皮 吸収 あり	感作用性 あり	TLVの 根拠-臨床 作用	気道感 作用性 あり	皮膚感 作用性 あり	気道およ び皮膚感 作用性あり	経皮 吸収 あり	気道感 作用性 あり	皮膚感 作用性 あり	感作用性 クラス1		
7789-12-0	重クロム酸ソーダ(二水和物)	Sodium dichromate, dihydrate															
7789-30-2	五弗化臭素	Bromine pentafluoride						刺激									
7790-91-2	三弗化塩素	Chlorine trifluoride						刺激									
7803-49-8	ヒドロキシルアミン	Hydroxylamine															
7803-51-2	リン化水素	Phosphine						刺激									
7803-52-3	アンチモンおよびその化合物【別名 スチビン】	Antimony hydride(Stibine)						刺激									
7803-57-8	ヒドラジン-水合物	Hydrazine monohydrate	○		○(2)												
7803-62-5	シラン	Silicon tetrahydride						刺激									
8001-35-2	塩素化カンフエン【別名 トキサフェン】	Chlorinated camphene (Toxaphene)					○										
8002-74-2	固形パラフィン	Paraffin wax fume						刺激									
8003-34-7	ピレトラム	Pyrethrum						皮膚炎, 感作									
8006-64-2	テレピン油	Turpentine			○(2)			○									○
8008-20-6	ケロシン/ジェット燃料(トータルハイドロカーボンとして)	Kerosene jet fuels, as total hydrocarbon vapor					○										
8018-01-7	N,N-エチレンビス(ジチオカルバミン酸)マンガ ンとN,N-エチレン ビス(ジチオカルバミ ン酸)亜鉛の錯化合物 【別名 マンコゼブ またはマンゼブ】	Complex compound of man- ganese N,N-ethylenebis (dithiocarbamate) & zinc N,N -ethylenebis (dithiocarbamate); Manzeb; Mancozeb															
8022-00-2	ジメチルエチルメルカ プトエチルチオホスフェ イト【別名 メチルジ メトン】	Methyl demeton					○										
8030-30-6	ラバーソルベント(ナ フサ)	Rubber solvent (Naphtha)						刺激									
8032-32-4	VMおよびPナフサ (ワニスおよび塗料用 ナフサ)	VM & P Naphtha						刺激									
8050-09-7	ロジン【別名 コロホ ニウム】	Rosin core solder thermal decomposition products (colophony)	○(1)	○(1)	○(1)			○									
8052-41-3	ストッダード溶剤	Stoddard solvent						刺激									
8052-42-4	アスファルト(ピチュー メン)ヒューム	Asphalt (Bitumen) fume, as benzen-soluble aerosol						刺激									

CAS番号	和名	英名	名	日本産業衛生学会 (2006)	ACGIH (2007)	EU (2004)	DFG (2004)	PRTR	日本職業・環境アレルギー学会(案)(2004)	アレルギー
				経皮吸収あり 気道感作性あり 皮膚感作性あり	経皮吸収あり 感作性あり TLVの 植物製品 昇作用	気道感作性あり 皮膚感作性あり	経皮吸収あり 気道感作性あり 皮膚感作性あり	経皮吸収あり 感作性クラス1	感作性あり 気道感作性のみ 経皮感作性のみ あるもの	アレルギー
8065-48-3	チオリン酸O,O-ジエチル ルエチルチオオエチル 【別名 ジメトロン(異性 体混合物)】	Demeton(Mixed isomers)		○						
9000-71-9	カゼイン	Casein							○	
9000-90-2	α -アミラーゼ	α -Amylase		○		○				○
9001-00-7	ブロメランジュ	Bromelain, juice		○		○				
9001-22-3	β -グルコシダーゼ	Glucosidase, β -		○		○				
9001-33-6	フィチン	Ficin		○		○				
9001-73-4	パパイン	Papain		○		○				
9001-75-6	ペプシン	Pepsin A		○		○				
9001-98-3	レンニン	Rennin		○		○				
9002-07-7	トリプシン	Trypsin		○		○				
9002-86-2	ポリ塩化ビニル【別名 ポリ塩化ビニルクロライド 】、【別名 塩化ビニル 樹脂】	PVC【別名 Polyvinyl chloride, Ethene, chloro-, homopolymer】		○(2)						○
9004-07-3	キモトリプシン	Chymotrypsin		○						
9004-34-6	セルロース	Cellulose			刺激					
9005-25-8	デンプン	Starch			皮膚炎					
9006-04-6	天然ゴムラテックス、 すべての蛋白	Natural rubber latex, as Total proteins		○	感作		○			
9012-54-8	セルラーゼ【正式名称 β -1,4-グルカンガルカ ノヒドロラーゼ】	Cellulases				○	○			
9014-01-1	枯草菌	Subtilisins, as crystalline ac- tive enzyme, Carlsburg, Bacillus subtilis			刺激、 感作	○	○			
9016-87-9	ポリメリックMDI【別名 【ポリメリックメチレン ビスフェニルイソソ シアネート】	Polymeric MDI【別名 Polymethylene polyphenyl is ocyanate】					○			
9068-59-1	細菌プロテアーゼ	Proteinase, microbial neutral				○				
		Proteases with the exception of those specified elsewhere in this Annex				○				
10025-67-9	一塩化硫黄	Sulfur monochloride			刺激					
10025-87-3	塩化ホスホル	Phosphorus oxychloride			刺激					

NII-Electronic Library Service

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)				ACGIH (2007)		EU (2004)				DFG (2004)		PRTR		日本職業・環境アレルギー学会 (案) (2004)	
			経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	経皮吸収あり	感作性あり	TLVの相乗効果作用	気道感作性あり	皮膚感作性あり	気道および皮膚感作性あり	経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	感作性クラス1	感作性あり	気道感作報告のみあるもの	皮膚感作報告のみあるもの
11097-69-1	塩素化ビスフェニル(C154)(PCBs)	Chlorodiphenyl (54%chlorine)	○			○		刺激				○						
12035-36-8	二酸化ニッケル(ニッケルおよびニッケル化合物)	Nickel dioxide		○(2)	○(1)					○				○				
12035-72-2	ニッケルおよびその化合物(酸化ニッケル)	Nickel subsulfide, as Ni		○(2)	○(1)			刺激, 皮膚炎		○				○				
12054-48-7	水酸化ニッケル(ニッケルおよびニッケル化合物)	Nickel hydroxide		○(2)	○(1)					○				○				
12079-65-1	シクロペンタジエントリカルボニルマンガン	Manganese cyclopentadienyl tricarbonyl, as Mn				○												
12108-13-3	2-メチルシクロペンタジエンマンガントリカルボニルマンガン	2-Methylcyclopentadienyl manganese tricarbonyl, as Mn				○												
12122-67-7	N,N'-エチレンビス(ジチオカルバミン酸)亜鉛 (別名ジネブ)	Zineb								○								
12125-02-9	塩化アンモニウム	Ammonium chloride fume						刺激										
12179-04-3	ボウ酸ナトリウム (五水和物)	Borates, tetra, sodium salts, pentahydrate						刺激										
12185-10-3	黄リン	Phosphorus (yellow)						刺激										
12427-38-2	マンネブ (別名 [[1,2-エタンジイルビス[カルバモジチオナト]](2-)]-マンガン)	Manganous ethylenebis-(dithiocarbamate); Maneb								○				○				
12604-58-9	フェロバナジウム	Ferovanadium dust						刺激										
13048-33-4	ニアクリル酸 1,6-ヘキサジオール	1,6-Hexanediol diacrylate									○			○				
13071-79-9	テルブフオス	Terbufos				○												
13108-52-6		Methyl-2,3,5,6-tetrachloro-4-pyridylsulphone; 2,3,5,6-tetrachloro-4-(methylsulphonyl)pyridine								○								
13121-70-5	サイヘキサチン【別名 トリシクロヘキサシルサヒドロキシド】	Cyhexatin; tricyclohexyltin hydroxide						刺激										
13149-00-3	ヘキサヒドロ無水フタル酸(cis異性体)	Hexahydrophthalic Anhydride, cis-isomers					○	感作						○				
13194-48-4		Ethoprophos (ISO); Ethyl S,S-dipropyl phosphorodithioate								○								

CAS番号	和 名	英 名	日本産業衛生学会 (2006)			ACGIH (2007)		EU (2004)		DFG (2004)			PRTR	日本職業・環境アレルギー学会(案)(2004)
			経皮吸収あり	気道感作用あり	皮膚感作用あり	経皮吸収あり	感作用あり	TLVの根拠-暴露作用	気道感作用あり	皮膚感作用あり	経皮吸収あり	気道感作用あり	皮膚感作用あり	
13380-57-1		Dimethylsulfamoyl chloride												
13463-39-3	ニッケルおよびその化合物(ニッケルカルボニル)	Nickel carbonyl, as Ni		○(2)	○(1)		刺激							
13466-78-9	δ - ϵ -カレン(モノテルペン類の一類)	Turpentine[3006-64-2] and selected monoterpene[δ - ϵ -Carene]			○		刺激							
13530-65-9	クロムおよびその化合物(クロム酸亜鉛)	Zinc chromates, as Cr		○(2)	○(1)			○				○		
13820-41-2		Diammonium tetrachloroplatinate							○					
13952-84-6	sec-ブチルアミン	sec-Butylamine										○		
14166-21-3	ヘキサヒドロ無水フタル酸(trans異性体)	Hexahydrophthalic anhydride,trans-isomers			○		感作		○					
14324-55-1	ジエチルジチオカルバミン酸亜鉛	Zinc bis(diethylthiocarbamate)						○						
14484-64-1	トリス (N,N-ジメチルジチオカルバメート) 鉄【別名 フェーハム】	Iron tris(dimethylthiocarbamate);					刺激					○		
14548-60-8		Benzyl alcohol mono(poly)hemiformal												
14857-34-2	ジメチルエトキシシラン	Dimethylethoxysilane					刺激							
14977-61-8	塩化クロミル	Chromyl chloride						○				○		
14977-61-8		Chromyl dichloride; chromic oxychloride						○						
15024-10-9		p-tolyl 4-chlorobenzoate						○						
15121-89-8		E-Ethyl 4-oxo-4-phenylcrotonate						○						
15165-67-0		(+)-R-2-(2,4-Dichlorophenoxy)propionic acid						○						
15625-89-5	トリメチロールプロパントリアクリレート	Trimethylolpropane Triacrylate						○				○		
15646-96-5		2,4,4-Trimethylhexamethylene-1,6-di-isocyanate		○										
15972-60-8	2-クロロ-2,6-ジエチル-N,N-ジメチルアセトアミド【別名 アラクロール】	2-Chloro-2,6-diethyl-N-(methoxymethyl)acetamide; Alachlor						○						
15980-11-7		3-Azidosulfonylbenzoic acid										○		

NII-Electronic Library Service

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)			ACGIH (2007)		EU (2004)		DFG (2004)			PRTR	日本職業・環境アレルギ学会(案) (2004)		
			経皮吸収あり	気道感作用性あり	皮膚感作用性あり	経皮吸収あり	感作用性あり	TLVの根拠-感作用性	気道感作用性あり	皮膚感作用性あり	気道および皮膚感作用性あり	経皮吸収あり	気道感作用性あり	感作用性クラス1	感作用性あり	気道感作用報告のみあるもの
18600-59-4			2,2-(1,4-Phenylene)bis((4H-3,1-benzoxazine-4-one)						○							
18759-96-1			3-Methyl-aminomethylphenylamine						○							
19060-15-2			4,4-Dimethoxybutylamine						○							
19247-05-3			N,N-hydrazinodiacetic acid						○							
19438-60-9	4-メチルヘキサヒドロ無水フタル酸		Hexahydro-4-methylphthalic anhydride						○							
19485-03-1			1-Methyltrimethylene diacrylate; 1,3-butylene glycol diacrylate						○							
20108-78-5			Valinamide						○							
20627-73-0			1-Dimethoxymethyl-2-nitrobenzene						○							
20706-25-6	エチレンジグリコールモノプロピルエーテルアセテート		Ethylene glycol mono-propyl ether acetate								○					
20816-12-0	四酸化オスミウム		Osmium tetroxide													
21351-79-1	水酸化セシウム		Cesium hydroxide													
21564-17-0	ベンチアゾール		(Benzothiazol-2-ylthio)methyl thiocyanate; TCMTB													
21983-80-2			4-Fluoro-2,2-dimethoxyacetophenone								○					
21983-80-2			2,4-Difluoro- α -(1H-1,2,4-triazol-1-yl) acetophenone hydrochloride								○					
22224-92-6	N-イソプロピルアミノホスホン酸O-エチル-O-(3-メチル-4-メチルチオフェニル) [別名フェナミホス]		Fenamiphos				○									
22259-30-9			Formetanate								○					
22411-22-9			Hafnium tetra-n-butoxide								○					
23085-60-1			Benzyl 2,4-dibromobutanoate								○					
23422-53-9			Formetanate hydrochloride; 3-(N,N-dimethylaminomethyleneamino) phenyl N-methylcarbamate								○					
23564-05-8	チオフェネートメチル		Thiophanate-methyl (ISO)								○					

CAS番号	和名	英名	名	日本産業衛生学会 (2006)			ACGIH (2007)			EU (2004)			DFG (2004)			PRTR		日本職業・環境アレルギー学会(案)(2004)	
				経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	経皮吸収あり	感作性あり	TLVの根拠-感作用	気道感作性あり	皮膚感作性あり	気道感作性あり	経皮吸収あり	結皮吸収あり	気道および皮膚感作性あり	感作性クラス1	感作性あり	気道感作報告のみあるもの	皮膚感作報告のみあるもの
23696-28-8			Olaquinox(N-(2-hydroxyethyl)-3-methyl-2-quinoxaline-carboxamide 1,4-dioxide)																○
23783-26-8			Hydroxyphosphonoacetic acid								○								
24279-39-8			2,6-Dichloro-4-trifluoromethylaniline								○								
244030-4-1			2-Bromo-2-nitropropanol								○								
24613-89-6			dDebromium tris(chromate); chromium III chromate; chromic chromate								○								
24856-00-6			5-Bromo-8-naphtholactam								○								
25013-15-4	ビニルトルエン		Vinyl toluene 【別名 Methyl styrene】						刺激										
25057-89-0	ベンタゾン		Bentazone (ISO); 3-isopropyl-2,1,3-benzothiadiazine-4-one-2,2-dioxide								○								
25068-38-6	4,4'-イソソプロピリジンジエポキシ		Polymer of 4,4'-isopropylidenediphenol & 1-chloro-2,3-epoxypropane(liquid); Diglycidylether of BPA; Bisphenol A type epoxy resin(liquid)								○								
25154-54-5	ジニトロベンゼン(全異性体)		Dinitrobenzene, all isomers			○					○								
25321-14-6	ジニトロトルエン		Dinitrotoluene(DNT)				○												
25376-45-8			Phenylenediamine								○								
25584-83-2			Acrylic acid hydroxypropyl ester (all isomers)																○
25639-42-3	メチルシクロヘキサノール		Methylcyclohexanol						刺激										
25646-71-3	4-アミノ-N-エチル-N-(2-メタンズルホンアミド)エチル-m-トリイソチアザール-2-トレート		N-(2-(4-Amino-N-ethyl-m-toluidino)ethyl)methanesulphonamide sesquisulphate, 4-(N-ethyl-N-2-methanesulphonylaminoethyl)-2-methylphenylenediamine sesquisulphate monohydrate								○								

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)				ACGIH (2007)		EU (2004)				DFG (2004)				PRTR		日本職業・環境アレルギー学会(案) (2004)			
			経皮吸収あり	気道感作用性あり	皮膚感作用性あり	経皮吸収あり	感作用性あり	TLVの根拠-暴露作用	気道感作用性あり	皮膚感作用性あり	経皮吸収あり	気道および皮膚感作用性あり	経皮吸収あり	気道および皮膚感作用性あり	皮膚感作用性あり	感作用性クラス1	感作用性	感作用性	気道感作用性あり	皮膚感作用性あり	報告のみ	報告のみ
25646-77-9	4-アミノ-N-エチル-N-ヒドロキシエチル-m-トルイジンサルフェート	(4-Ammonio-m-tolylethyl)(2-hydroxyethyl)ammonium sulphate; 4-(N-ethyl-N-2-hydroxyethyl)-2-methylphenylenediamine sulphate										○										
25985-81-5		1-(2-Propenyl)pyridinium chloride										○										
26140-60-3	テルフェニル	Terphenyls						刺激														
26172-55-4	5-クロロ-2-メチル-2-イソチアゾリン-3-オン	5-Chloro-2-methyl-2-dihydroisothiazol-3-one													○							
26266-63-7		Tetrahydrophthalic anhydride										○										
26447-14-3		Cresyl glycidyl ether										○										
26447-40-5		Methylenediphenyl diisocyanate										○										
26471-62-5	トリレンジイソシアネート【別名:メチル-1,3-フェニレンジイソシアネート】【別名: m-リレンジイソシアネート】	Tolylene diisocyanate 名 Methyl-1,3-phenylene diisocyanate 【別名: m-Tolylene diisocyanate】		○(1)	○(2)							○				○					○	
26530-20-1	2-オクタチル-4-イソチアゾリン-3-オン	2-Octyl-4-isothiazolin-3-one										○			○							
26952-21-6	イソオクタチルアルコール	Isooctyl alcohol						刺激														
27080-42-8		[2-[(4-Nitrophenyl)amino]ethyl]urea										○										
27140-08-5		Phenylhydrazine hydrochloride										○										
27213-78-1	p-tert-ブチルカテコール	p-tert-Butylcatechol													○							
30043-49-3		1-(5-Ethylsulphonyl-1,3,4-thiadiazol-2-yl)-1,3-dimethylurea; ethidimuron										○										
30619-84-9		Glycerol monothioglycolate													○							
30864-28-9		Methyl 3-(dimethoxyphosphinothioyl)										○										
31906-04-4	4-ヒドロキシ-4-メチルペンチル-3-シクロヘキセンカルボキシアルデヒド	4-(4-Hydroxy-methylpentyl)-3-cyclohexene-1-carboxaldehyde													○							
33089-61-1	アミトラズ	Amitraz (ISO)										○										

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)				ACGIH (2007)		EU (2004)		DFG (2004)		PRTR		日本職業・環境アレルギー学会(案)(2004)	
			経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	経皮吸収あり	感作性あり	TLVの組織-臓器作用	気道感作性あり	皮膚感作性あり	気道および皮膚感作性あり	経皮吸収あり	気道感作性あり	感作性クラス1	感作性あり	気道感作報告のみあるもの
33610-13-8		<i>tert</i> -Butyl[5S,6R,7R]-3-bromomethyl-5,8-dioxo-7-(2-phenylacetamido)-5-thia-1-azabicyclo[4.2.0] oct-2-ene-2-carboxylate									○					
34256-82-1		2-Chloro- <i>N</i> -(ethoxymethyl)- <i>N</i> -(2-ethyl-6-methylphenyl)acetamide; acetochlor			○					○						
34590-94-8	ジプロピレングリコールメタチルエーテル	Methoxypropyl ether 2-(bis-) (DPGME)				○		刺激								
35000-38-5		<i>tert</i> -Butyl (triphenylphosphoranylidene)acetate			○					○						
35691-65-7	1,2-ジブromo-2,4-ジシアノブタン	1,2-Dibromo-2,4-dicyanobutane								○						
35850-52-8		2-Bromo-1-(2-furyl)-2-nitroethylene			○					○						
37278-89-0	キシリナーゼ	Xylanases											○			
37329-65-0		Cellobiohydrolase, exo-Cellulases with the exception of those specified elsewhere in this Annex							○	○						
37441-29-5		5-Amino-2,4,6-triiodo-1,3-benzenedicarbonyldichloride			○					○						
37866-45-8		2-(<i>O</i> -aminoxy)ethylamine dihydrochloride			○					○						
39300-45-3	DPC(混合異性体)	Dinocap (ISO)			○					○						
39562-16-8		Ethyl 2-(3-nitrobenzylidene) acetoacetate			○					○						
39562-27-1		Methyl 2-(2-nitrobenzylidene) acetoacetate			○					○						
40188-41-8		3,7-Dimethyloctanenitrile			○					○						
40487-42-1	<i>N</i> -(1-エチルプロピル)2,6-ジニトロ-3,4-キシリジン【別名ベンチイスマリン】	<i>N</i> -(1-Ethylpropyl)-2,6-dinitro-3,4-xylydine			○					○						
41481-66-7		2,2'-Diallyl-4,4'-sulfonyldiphenol			○					○						
41683-62-9		1,2-Dichloromethoxyethan										○				
42221-52-3		2,3,4,5-Tetrachlorobenzoylchloride			○					○						

NII-Electronic Library Service

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会(2006)	ACGIH(2007)	EU(2004)	DFG(2004)	PRTR	日本職業・環境アレルギ学会(案)(2004)
			経皮吸収あり 気道感作性あり 皮膚感作性あり	経皮吸収あり TLVの根拠一価系作用	気道感作性あり 皮膚感作性あり	経皮吸収あり 気道感作性あり	感作性クラスI	気道感作性のみあるもの 報告のみあるもの
52888-80-9		S-Benzyl N,N-dipropylthiocarbamate			○			
53408-94-9		Tin(II) methanesulphonate			○			
53469-21-9	塩素化ビフェニル(C142%) (PCB)	Chlorodiphenyl (42%chlorine)	○	刺激		○		
54275-93-3		(1 S,3 S,5 R,6 R)-(4-Nitrophenylmethyl)-1-dioxo-6-phenylacetamido-penam-3-carboxylate		○				
54322-20-2		Sodium 4-chloro-1-hydroxybutane-1-sulfonate		○				
54527-73-0		2-(N-Benzyl-N-methylamino)methyl-3-amino-2-butenolate		○				
55285-14-8	N-ジブチルアミノオキサベンザルカルバミン酸2,3-シクロ-2,2'-ジメチル-2,3'-ジヒドロ-[1b]フラニル【別名 カルボスルファン】	2,3-Dihydro-2,2-dimethyl-7-benz[b]furyl N-(diethylamino)thio-N-methylcarbamate; Carbosulfan		○				
55406-53-6		3-Iodo-2-propynyl butyl carbamate				○		
55512-33-9		Pyridate (ISO)		○				
55720-99-5	塩化ビフェニル	Chlorinated biphenyl			○			
55965-84-9		Mixture of: 5-chloro-2-methyl-4-isothiazolin-3-one [EC no.247-500-7] and 2-methyl-2H-isothiazol-3-one [EC no.220-239-6](3:1)		○				
56634-95-8		Bromoxynil heptanoate (ISO)		○				
57280-22-5		4,4-Dimethyl-3,5,8-trioxabicyclo[5.1.0]octane		○				
57837-19-1	メタラキシール	Metalaxyl (ISO)		○				
57966-95-7	シモキサニール	Cymoxanil		○				
58594-72-2		Imazalil sulphate (ISO)powder		○				
58834-75-6		Vanadyl pyrophosphate		○				
58856-63-6		A mixture of: dodecanoic acid (35-40%)		○				
58890-25-8		3,3'-Dicyclohexyl-1,1'-methylenes(4,1-phenylene)urea		○				

NII-Electronic Library Service

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)			ACGIH (2007)		EU (2004)		DFG (2004)			PRTR		日本職業・環境アレルギー学会(案)(2004)		
			経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	経皮吸収あり	感作性あり	TLVの推奨一触発作用	気道感作性あり	皮膚感作性あり	気道および皮膚感作性あり	経皮吸収あり	気道感作性あり	感作性クラス1	感作性あり	気道感作報告のみあるもの	皮膚感作報告のみあるもの
66710-66-5		N,N'-ethylenebis (vinylsulfonamide)							○								
68131-73-7		Amines, polyethylenepoly-HEPA							○								
68132-19-4		C8-18Alkylbis(2-hydroxyethyl)ammonium bis(2-ethylhexyl)phosphate							○								
68334-30-5	ディーゼル燃料(トールハイドロカーボンとして)	Diesel fuel as total hydrocarbons	○			○		刺激、皮膚障害									
68476-30-2	ディーゼル燃料(トールハイドロカーボンとして)	Diesel fuel as total hydrocarbons	○			○		刺激、皮膚障害									
68476-31-3	ディーゼル燃料(トールハイドロカーボンとして)	Diesel fuel as total hydrocarbons	○			○		刺激、皮膚障害									
68476-34-6	ディーゼル燃料(トールハイドロカーボンとして)	Diesel fuel as total hydrocarbons	○			○		刺激、皮膚障害									
68609-97-2		Oxirane, mono[(C12-14-alkyloxy)methyl] derivs.							○								
68612-94-2		1,2-Dihydro-6-hydroxy-4-methyl-1-[3-(1-methylethoxy)propyl]-2-oxo-3-pyridinecarbonitrile							○								
69012-64-2	シリカ (非晶質・ヒューム)	Silica-Amorphous fume						刺激									
69045-82-5		2-Fluoro-5-trifluoromethylpyridine							○								
69045-84-7		2,3-Dichloro-5-trifluoromethyl-pyridine							○								
69094-18-4		2,2-Dibromo-2-nitroethanol							○								
69788-75-6		4-Chlorobutyl veratrate							○								
70264-94-7		Methyl 4-bromomethyl-3-methoxybenzoate							○								
70657-70-4		Propylene glycol 2-methyl ether-1-acetate										○					
70776-03-3	塩素化ナフタレン	Chlorinated naphthalenes										○					
70987-78-9	トシル酸グリシジル	Oxiranemethanol							○								

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)			ACGIH (2007)		EU (2004)			DFG (2004)		PRTR	日本職業・環境アレルギー学会(案)(2004)
			経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	経皮吸収あり	感作性あり	TLVの根拠＝暴露作用	気道感作性あり	皮膚感作性あり	皮膚感作性あり	経皮吸収あり	気道感作性あり	
71302-79-9		A mixture of: 2-ethylhexyl linolenate, linoleate and oleate 2-ethylhexyl epoxyoleate 2-ethylhexyl diepoxylinolenate 2-ethylhexyl triepoxylinolenate												
71550-12-4		Polymer of allylamine;hydrochloride												
71786-70-4		Diphenyl(4-phenylthiophenyl)sulfonium hexafluoroantimonate												
72830-09-2		2-Chloromethyl-3,4-dimethoxypyridinium chloride												
74222-97-2	2-(4,6-ジメチル-2-ピリミジニル)アミノカルボニルアミノスルホニル) 安息香酸メチル【別名 スルホメチロンメチル】	Sulfometuron methyl												
74401-04-0		N-Methyl-4-(p-formylstyryl)pyridinium methylsulfate												
75113-37-0		Dibutyltin hydrogen borate												
75511-91-0		N-Butyl-3-(2-chloro-4-nitrophenylhydrazono)-1-cyano-2-methylprop-1-ene-1,3-dicarboximide												
76109-32-5		(1S,4 R,6 R,7 R)-(4-Nitrophenylmethyl)-3-methylene-1-oxo-7-phenylacetamido-cepham-4-carboxylate												
76823-93-3		3-(2-(Diaminomethyl)enseamino)												
76855-69-1	アセトキシアエチジン	(2R,3R)-3-((R)-1-(tert-Butyldimethylsiloxyethyl)-4-oxazetidin-2-yl acetate												
76832-17-7		(S)-α-(Acetylthio)benzenepropanoic acid												
77375-79-2		Ethyl 2-(isocyanatosulfonyl)benzoate												○
77402-05-2		Methyl acrylamidoglycolate (containing >= 0.1% acrylamide)												○

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)			ACGIH (2007)			EU (2004)			DFG (2004)			PRTR		日本職業・環境アレルギー学会 (案) (2004)	
			経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	経皮吸収あり	感作性あり	TLVの相乗-臨界作用	気道感作性あり	皮膚感作性あり	気道および皮膚感作性あり	経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	感作性クラス1	感作性あり	気道感作報告のみあるもの	皮膚感作報告のみあるもの
77650-28-3	ディーゼル燃料(トールハイドロカーボンとして)	Diesel fuel as total hydrocarbons	○					刺激、皮膚障害										
78531-60-9		1-(4-(trans-4-Heptylcyclohexyl)-								○								
78531-61-0		4-(trans-4-Propylcyclohexyl)acetophenone								○								
79200-56-9		(1R,4S)-2-Azabicyclo[2.2.1]hept-5-en-3-one								○								
79277-18-2		Methyl 3-isocyanatosulfonyl-2-thiophene-carboxylate									○							
79815-20-6		(S)-2,3-Dihydro-1H-indole-2-carboxylic acid								○								
79944-37-9		trans-(5RS,6SR)-6-Amino-2,2-dimethyl-1,3-dioxepan-5-ol								○								
79983-71-4	ヘキサコナゾール	Hexaconazole (ISO)								○								
80387-97-9		2-Ethylhexyl[[[3,5-bis(1,1-dimethylethyl)-4-hydroxyphenyl]methyl]thio]acetate								○								
81880-96-8		(4-Hydrazinophenyl)-N-methylmethanesulfonamide								○								
81898-60-4		Tetracodium 3,3'-(piperazine-1,4-diyl)bis[(6-chloro-1,3,5-triazine-4,2-diyl)imino(2-phenylimino)]bis(hapthalene-1,5-disulphonate)								○								
82633-79-2		2,3,5,6-Tetrahydro-2-methyl-2H-cyclopenta [d]-1,2-thiazol-3-one								○								
83055-99-6	ベンスルフロンメチル	Bensulfuron-methyl;methyl alpha-(4,6-dimethoxypyrimidin-2-yl)ureidosulphonyl-o-toluate								○								
83056-32-0		2-(Isocyanatosulfonylmethyl)benzoic acid methyl ester; (alt.) methyl 2-(isocyanatosulfonylmethyl)benzoate									○							

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)				ACGIH (2007)		EU (2004)		DFG (2004)				PRTR		日本職業・環境アレルギ学会(案)(2004)
			経皮吸収 あり	気道感 作性 あり	皮膚感 作性 あり	経皮吸 収あり	感作性 あり	TLVの 基準値 異作用	気道感 作性 あり	皮膚感 作性 あり	気道およ び皮膚感 作性あり	経皮吸 収あり	気道感 作性 あり	皮膚感 作性 あり	気道およ び皮膚感 作性あり	感作性 クラス1 あり	
83623-61-4		((4-Phenylbutyl) hydroxyphosphoryl) acetic acid							○								皮膚感作 報告のみ あるもの
83857-96-9		2-Butyl 4-chloro-5-formylimidazole							○								皮膚感作 報告のみ あるもの
83918-57-4		(+)-1-[2-(Allyloxy)ethyl-2-(2,4-dichlorophenyl)-1H-imidazolium hydrogen sulphate							○								皮膚感作 報告のみ あるもの
84087-01-4		3,7-Dichloroquinoline-8-carboxylic acid							○								皮膚感作 報告のみ あるもの
85153-92-0		Hexasodium 6,13-dichloro-3,10-bis(4-(2,5-disulfonatoanilino)-6-fluoro-1,3,5-triazin-2-ylamino)prop-3-ylamino-5,12-dioxo-7,14-diazapentacene-4,11-disulfonate							○								皮膚感作 報告のみ あるもの
85665-96-9		Hexasodium 7-(4-(4-(4-(2,5-disulphonatoanilino)-6-fluoro-1,3,5-triazin-2-ylamino)-2-methylphenylazo)-7-sulphonatonaphthylazo)naphthalene-1,3,5-trisulphonate							○								皮膚感作 報告のみ あるもの
85665-97-0		Tetrasodium 5-benzamido-3-(5-(4-fluoro-6-(1-sulphonato-2-naphthylamino)-1,3,5-triazin-2-ylamino)-2-sulphonatophenylazo)-4-hydroxynaphthalene-2,7-disulphonate							○								皮膚感作 報告のみ あるもの
85702-90-5		S-(3-Trimethoxysilyl)propyl 19-isocyanate-11-(6-isocyanatoethyl)-10,12-dioxo-2,9,11,13-tetraazanonadecanethioate							○								皮膚感作 報告のみ あるもの
86290-81-5	ガソリン	Gasoline															皮膚感作 報告のみ あるもの
86393-35-3		Disodium 6-((4-chloro 6-(N-methyl)-2-toluidino)-1,3,5-triazin-2-ylamino)-1-hydroxy-2-(4-methoxy-2-sulphonatophenylazo)naphthalene-3-salphonate							○								皮膚感作 報告のみ あるもの
86403-32-9		A mixture of: 2,2,6,6-tetramethylpiperidin-4-yl-hexadecanoate							○								皮膚感作 報告のみ あるもの

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)	ACGIH (2007)	EU (2004)	DFG (2004)	PRTR	日本職業・環境アレルギー学会(案) (2004)
			経皮吸収あり 気道感作性あり 皮膚感作性あり	経皮吸収あり 感作性あり TLVの根拠一臨界作用	気道感作性あり 皮膚感作性あり	経皮吸収あり 気道感作性あり 皮膚感作性あり	感作性クラス1	感作性あり 気道感作報告のみあるもの 皮膚感作報告のみあるもの
87392-12-9		S-Metolachlor mixture of (S)-2-chloro-N-(2-ethyl-6-methylphenyl)-N-(2-methoxy-1-methyl-ethyl)-acetamide (80-100%)			○			
87731-18-8		Cyclooct-4-en-1-yl methyl carbonate			○			
88805-65-6		Ethyl 3-hydroxy-5-oxo-3-cyclohexene-1-carboxylate			○			
88918-84-7		(4-Aminophenyl)-N-methylmethanesulfonamide hydrochloride			○			
88992-03-0		Phenyl N-(4,6-dimethoxypyrimidin-2-yl)carbamate			○			
89415-87-2		1,3-Dichloro-5-ethyl-5-methylimidazolidine-2,4-dione			○			
89544-48-9		2-(2,4-dichlorophenyl)-2-(2-propenyl)oxirane			○			
89797-01-3		(Trisodium 2-(3-(6-(2-chloro-5-sulfonatoamino)-4-(3-carboxypyridinio)-1,3,5-triazin-2-ylamino)-2-oxido-5-sulfonatophenylazo)-4-phenylmethylethylazo)-4-sulfonatobenzoato)copper (3-) hydroxide			○			
90657-55-9		trans-4-Cyclohexyl-L-proline monohydrochloride			○			
90884-29-0		4,4'-Oxybis(ethylenethio)diphenol			○			
91273-04-0		N,N-Bis(2-ethylhexyl)-(1,2,4-triazol-1-yl)methylamine			○			
91673-30-2		Formaldehyde, reaction products with butylphenol			○			
93629-90-4		1,3-Bis(vinylsulfonylacetamido)propane			○			
93672-52-7		2,5-Dibutoxy-4-(morpholin-4-yl)benzenediazonium 4-methylbenzenesulfonate			○			
93763-70-3	パーライト	Perlite		刺激				
94021-76-8		6,7-Dihydropyrido[1,2- α :2',1'-c]pyrazinediylum dihydroxide			○			

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)				ACGIH (2007)		EU (2004)		DFG (2004)		PRTR		日本職業・環境アレルギ学会(案)(2004)	
			経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	経皮吸収あり	感作性あり	TLVの根拠-臨界作用	気道感作性あり	皮膚感作性あり	気道および皮膚感作性あり	経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	感作性あり	気道感作報告のみあるもの
94097-88-8		(E,Z)-4-Chlorophenyl (cyclopropyl)ketone							○							
95154-01-1		(Benzothiazol-2-ylthio)succinic acid							○							
96314-26-0		trans-4 Phenyl-L-proline							○							
97101-46-7		Methyl 3-(acetylthio)-2-methyl-propanoate							○							
98809-11-1		2-[[4-[4,6-Bis[[3-(diethylamino)propyl]amino]-1,3,5-triazine-2-yl]amino]phenyl]azo)-N-(2,3-dihydro-2-oxo-1H-benzimidazol-5-yl)-3-oxobutanamide							○							
98886-44-3	ホスチアゼート	Posthiazate (ISO)							○							
99095-19-9		(+/-)-4-[2-[[3-(4-Hydroxyphenyl)-1-methylpropyl]amino]-1-hydroxyethyl]phenol hydrochloride							○							
99817-36-4		2,4-Dichloro-3-ethyl-6-nitrophenol							○							
100181-71-3		Isobutyl 3,4-epoxybutyrate							○							
100418-33-5		2-((4-Methyl-2-nitrophenyl)amino)ethanol							○							
100501-62-0		Ethyl 1-ethyl-6,7,8-trifluoro-1,4-dihydro-4-oxoquinoline-3-carboxylate							○							
101200-48-0		Methyl 2-(3-(4-methoxy-6-methyl-1,3,5-triazin-2-yl)-3-methylureidosulphonyl)benzoate							○							
101513-70-6		3,5-Dichloro-2,4-difluorobenzoyl fluoride							○							
101657-77-6		4,4'-Methylenebis(2,6-dimethylphenyl cyanate)							○							
103055-07-8	ルフエヌロン	Lufenuron; N-[2,5-dichloro-4-(1,1,2,3,3,3-hexafluoropropoxy)-phenyl]-aminocarbonyl]-2,6-difluorobenzamide							○							
104226-19-9		3-((4-(Bis(2-hydroxyethyl)amino)-2-nitrophenyl)amino)-1-propanol							○							

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)				ACGIH (2007)			EU (2004)			DFG (2004)			PRTR	日本職業・環境アレルギー学会(案)(2004)		
			経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	経皮吸収あり	感作性あり	TLVの相乗・協同作用	気道感作性あり	皮膚感作性あり	気道および皮膚感作性あり	経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	感作性クラス1	感作性あり	気道感作報告のみあるもの	皮膚感作報告のみあるもの	
104788-63-8		6-(Nonylamino)-6-oxo-peroxyhexanoic acid								○									
104958-67-0		<i>N-butyl</i> -2-(4-Morpholinylcarbonyl)benzamide								○									
105254-85-1		3-(Bis(2-ethylhexyl)aminomethyl)benzothiazole-2(3H)-thione								○									
105560-93-8		Methyl 2R,3S(-)-3-(4-methoxyphenyl)oxiranecarboxylate								○									
105996-54-1		<i>N,N'</i> -Bis(trifluoroacetyl)- <i>S,S'</i> -bis-L-homocysteine								○									
106028-58-4		Tetralithium 6-amino-4-hydroxy-3-(7-sulfonato-4-(4-sulfonatophenylazo)-1-naphthylazo)naphthalene-2,7-disulfonate								○									
106264-79-3		6-Methyl-2,4-bis(methylthio)phenylene-1,3-diamine								○									
106359-91-5		Trisodium 7-(4-(6-fluoro-4-(2-vinylsulphonylethoxy)ethylamino)-1,3,5-triazin-2-ylamino)-2-ureidophenylazo)naphthalene-1,3,6-trisulphonate								○									
106447-44-3		3-(<i>cis</i> -1-Propenyl)-7-amino-8-oxo-5-thiaspiro[4.2]oct-2-ene-2-carboxylic acid								○									
106990-43-6		<i>N,N,N',N''</i> -tetrakis(4,6-bis(butyl-(<i>N</i> -methyl-2,2,6,6-tetramethylpiperidin-4-ylamino)triazin-2-yl)-4,7-diazadecane-1,10-diamine								○									
107246-80-0		Tetralithium 6-amino-4-hydroxy-3-[(7-sulfonato-4(5-sulfonato-2-naphthylazo)-1-naphthylazo)naphthalene-2,7-disulfonate								○									
108624-00-6		Lithium sodium hydrogen 4-amino-6-(5-chloro-2,6-difluoropyrimidin-4-ylamino)-2-sulphonatophenylazo)-5-hydroxy-3-(4-(2-sulphonatooxy)ethylsulphonylphenylazo)naphthalene-2,7-disulphonate								○									

CAS番号	和 名	英 名	日本産業衛生学会 (2006)			ACGIH (2007)		EU (2004)		DFG (2004)		PRTR	日本職業・環境アレルギー学会(案)(2004)			
			経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	経皮吸収あり	感作性あり	TLVの規制-臨界作用	気道感作性あり	皮膚感作性あり	気道感作性あり	経皮吸収あり	気道感作性あり	感作性あり	感作性あり	感作性あり
108673-51-4		N-(4-(3-(4-cyanophenyl)ureido)-3-hydroxyphenyl)-2-(2,4-di- <i>tert</i> -pentylphenoxy)octanamide			○											
109678-33-3		2,2,6,6-Tetrakis(bromomethyl)-4-oxaheptane-1,7-diol			○											
110799-28-5		<i>N</i> - <i>tert</i> -pentyl-2-benzothiazolesulfenamide			○											
111298-82-9		7-Amino-3-((5-carboxymethyl-4-methyl-1,3-thiazol-2-ylthio)methyl)-8-oxo-5-thia-1-azabicyclo(4.2.0)oct-2-ene-2-carboxylic acid								○						
111337-53-2		Lithium 3-oxo-1,2(2H)-benzisothiazol-2-ide			○											
111850-24-9		4-(4-Nitrophenylazo)-2,6-di- <i>sec</i> -butyl-phenol			○											
112006-75-4		2-Aminosulfonyl-N,N-dimethylnicotinamide			○											
112195-27-4		3-Amino-4-hydroxy-N-(2-methoxyethyl)-benzenesulfonamide			○											
112704-51-5		(E)-3-(2-Chlorophenyl)-2-(4-fluorophenyl)propenal			○											
112926-00-8	シリカ (非晶質・沈殿およびゲル)	Silica-Amorphous, precipitated silica and Silica gel					刺激									
113963-87-4		Potassium 2-(2,4-dichlorophenoxy)-(R)-propionate			○											
114119-97-0		2,5,7,7-Tetramethyloctanal			○											
114565-66-1		4-[4-(1,3-Dihydroxyprop-2-yl)phenylamino]-1,8-dihydroxy-5-nitroanthraquinone			○											
114765-88-7		A mixture of: <i>cis</i> -(5-ammonium-1,3,3-trimethyl)-cyclohexanemethylammonium phosphate (1:1); <i>trans</i> -(5-ammonium-1,3,3-trimethyl)-cyclohexanemethylammonium phosphate(1:1)			○											

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)			ACGIH (2007)		EU (2004)		DFG (2004)		PRTR	日本職業・環境アレルギー学会(案) (2004)			
			経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	経皮吸収あり	感作性あり	TLVの根拠=臨界作用	気道感作性あり	皮膚感作性あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	経皮吸収あり	気道感作性あり	感作性クラスI	気道感作報告のみあるもの
115099-55-3		(Tetrasodium 1-(4-(3-acetamido-4-(4'-nitro-2,2'-disulfonatostilben-4-ylazo)anilino)-6-(2,5-disulfonateamino)-1,3,5-triazin-2-yl)-3-carboxypyridinium) hydroxide														
116256-11-2		1-(3-(4-Fluorophenoxy)propyl)-3-methoxy-4-piperidinone														
116340-05-7		Tetrakis (tetramethylammonium) 6-amino-4-hydroxy-3-(7-sulfonato-4-(4-sulfonatophenylazo)-1-naphthylazo)naphthalene-2,7-disulfonate														
116889-78-2		Tetrasodium 4-amino-5-hydroxy-6-(4-(2-(2-(sulfonatoethoxy)sulfonyl)ethyl-carbamoyl)phenylazo)-3-(4-(2-(sulfonatoethoxy)sulfonyl)phenylazo)														
117715-57-8		7-[(4,6-Dichloro-1,3,5-triazin-2-yl)amino]-4-hydroxy-3-(4-(2-sulfoxy)ethyl)sulfonyl]phenylazo]														
117827-06-2		3,5-Dichloro-4-ethyl-2-hydroxypalmitamide														
117907-43-4		2-[(4-Amino-2-nitrophenyl)amino]benzoic acid														
118134-30-8		Spiroxamine														
118658-98-3		7-[4-(3-Diethylaminopropylamino)-6-(3-diethylammonio-propylamino)-1,3,5-triazin-2-ylamino]-4-hydroxy-3-(4-phenylazophenylazo)-naphthalene-2-sulfonate, acetic acid, lactic acid (2:1:1)														
118685-34-0		Sodium 5- <i>n</i> -butylbenzotriazole														
119154-86-8		2-(2-Amino-1,3-thiazol-4-yl)-(2'-2-methoxyiminoacetyl chloride hydrochloride														
119299-10-4		Sodium (R)-2-(2,4-dichlorophenoxy)propionate														

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)	ACGIH (2007)	EU (2004)	DFG (2004)	PRTR	日本職業・環境アレルギー学会 (案) (2004)
			経皮吸収あり 気道感作性あり 皮膚感作性あり	経皮吸収あり 感作性あり TLVの補換一価算作用	気道感作性あり 皮膚感作性あり	気道および皮膚感作性あり 経皮吸収あり	感作性クラス1	感作性あり 気道感作報告のみあるもの 皮膚感作報告のみあるもの
119462-56-5		1,3-Bis(3-methyl-2,5-dioxo-1H-pyrrol-nylmethyl)-benzene			○			
120298-38-6		(S,S)-trans-4-(Acetylamino)-5,6-dihydro-6-methyl-7,7-dioxo-4H-thieno[2,3-b]thiopyran-2-sulfonamide			○			
120307-06-4		Tetrabutylammonium butyltriphenylborate			○			
122035-71-6		Oxo-(2,2,6,6-tetramethylpiperidin-4-yl)amino carbonylacetohydrazide			○			
122371-93-1		2-(4-Chloro-3-cyano-5-formyl-2-thienylazo)-5-diethylamino-2-methoxyacetanilide			○			
122760-84-3		4-Methyl-8-methylenetricyclo[3.3.1.1 ^{3,7}]decan-2-ol			○			
122760-85-4		4-Methyl-8-methylenetricyclo[3.3.1.1 ^{3,7}]dec-2-yl acetate			○			
123748-85-6		8,9-Dinorborn-5-ene-2,3-dicarboxylic anhydride		○				
124495-18-7		Quinoxifen			○			
124537-30-0		Hexakis(tetramethylammonium) 4,4'-vinylenebis(3-sulfonato-4,1-phenylene)imino(6-morpholino-1,3,5-triazine-4,2-diyl)imino bis(5-hydroxy-6-phenylazonaphthalene-2,7-disulfonate)			○			
124584-00-5		3(or 5)-(4,N'-Benzyl-N'-ethylamino)-2-methylphenylazo)-1,4-dimethyl-1,2,4-triazolium methylsulphate			○			
124605-82-9		Tetra-sodium/lithium 4,4'-bis-(8-amino-3,6-disulfonato-1-naphthol-2-ylazo)-3-methylazobenzene			○			
125224-62-6		(1S)-2-Methyl-2,5-diazobicyclo[2.2.1]heptane dihydrobromide			○			

CAS番号	和名	英名	名	日本産業衛生学会 (2006)	ACGIH (2007)	EU (2004)	DFG (2004)	PRTR	日本職業・環境アレルギー学会 (案) (2004)	皮膚感作 報告のみ あるもの
125328-86-1		Lithium 1-amino-4-(4-tert-butylamino)an- ttraquinone-2-sulfonate		経皮吸収あり 気道感作性あり 皮膚感作性あり	経皮吸収あり 感作性あり TLVの 根拠-臨 界作用	気道感作性あり 皮膚感作性あり	気道感作性あり 皮膚感作性あり 光過 敏性あり	感作性 クラス1	気道感作 報告のみ あるもの	皮膚感作 報告のみ あるもの
126637-70-5		Dilithium disodium				○				
129205-19-2		2,4-Dihydroxy-N-(2-methoxyphenyl)benzamide				○				
129217-90-9		Reaction products of: anilineterephthalaldehyde-o- toluidine				○				
129604-78-0		N-(5-Chloro-3-((4-(diethylamino)-2-methylphenyl)imino-4-methyl-6-oxo-1,4-cyclohexadien-1-yl)benzamide				○				
130014-35-6		2,3-Epoxypropyl 2-ethylcyclohexyl ether; Butylcyclohexylglycidyl ether				○				
130066-57-8		Bis[4-(ethenyl)oxy]butyl] 1,3-benzenedicarboxylate				○				
130201-57-9		Tetrasodium 5-[4-chloro-6-(N-ethyl-anilino)-1,3,5-triazin-2-ylamino] 4-hydroxy-3-(1,5-disulfonatonaftthalen-2-ylazo)naphthalene 2,7-disulfonate				○				
130728-76-6		N,N,N',N'-Tetraglycidyl-4,4'-diamino-3,3'-diethyldiphenylmethane				○				
130841-23-5		1,4-Dichloro-2-(1,1,2,3,3,3-hexafluoropropoxy)-5-nitrobenzene				○				
131657-78-8		2-Chloro-6-(ethylamino)-4-nitrophenol				○				
131766-73-9		A mixture of: <i>trans</i> -4-acetoxy-4-methyl-2-propyl-tetrahydro-2H-pyran:cis-4-acetoxy-4-methyl-2-propyl-tetrahydro-2H-pyran				○				
132885-85-9		4-[N-Ethyl-N-(2-hydroxyethylamino)-1-(2-hydroxyethylamino)-2-nitrobenzene, monohydrochloride				○				
133167-77-8		Sodium 3-acetoacetylaminio-4-methoxytolyl-6 sulfonate				○				

CAS番号	和 名	英 名	日本産業衛生学会 (2006)			ACGIH (2007)			EU (2004)			DFG (2004)			PRTR			日本職業・環境アレルギー学会 (案) (2004)		
			経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	経皮吸収あり	感作性あり	TLVの根拠-臨界作用	気道感作性あり	皮膚感作性あり	気道および皮膚感作性あり	経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	感作性あり	感作性あり	感作性あり	感作性あり	感作性あり	感作性あり
134164-24-2		Dibenzylphenylsulfonium hexafluoroantimonate									○									
134595-59-8		Sodium (1,0,1,95)/lithium (0,03-1)									○									
135043-64-0		4-Amino-2-(aminomethyl)phenol									○									
135158-54-2	アシベンゾラリルメチル剤	Acibenzolar-S-methylbenzo[1,2,3]thiadiazole-7-carbothioic acid S-methyl ester									○									
136122-15-1		2,5-Dimercaptomethyl-1,4-dithiane									○									
136210-32-7		Bis(4-(1,2-bis(ethoxycarbonyl)ethylamino)-3-methylcyclohexyl)methane									○									
136213-73-5		2-(4-(Ethyl-(2-hydroxyethyl)amino)-hydroxyethyl)amino-									○									
136213-75-7		Sodium 4-(4-chloro-6-(N-ethylamino)-1,3,5-triazin-2-ylamino)-2-(1-(2-chlorophenyl)-5-hydroxy-3-methyl-1H-pyrazol-4-ylazo)benzenesulfonate									○									
136248-03-8		Trisodium-3-amino-6,13-dichloro-10-(3-(4-chloro-6-(2-sulfophenylamino)-1,3,5-triazin-2-yl)amino)propyl)amino-4,11-triphenoxy-dioxazinedisulfonate									○									
136465-99-1		1-(2-Quinolinyloxymethyl)-2,5-pyrrolidinedione									○									
136920-10-0		Behenamidopropyl-dimethyl(dihydroxypropyl)ammonium chloride									○									
137590-32-0		[R-(R'-S')] [(2-Methyl-1-(1-oxopropoxy)propoxy)-(4-phenylbutyl)phosphoryl]acetic acid.									○									
137605-95-9		2-Butyl-2-ethyl-1,5-diaminopentane									○									
137796-06-6		4-Ethyl-2-methyl-2-isopentyl-1,3-oxazolidine									○									
140921-24-0		1,6-Hexanediyl-bis(2-(2-(1-ethylpentyl)-3-oxazolidinyl)ethyl)carbamate									○									

CAS番号	和名	英名	経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	経皮吸収あり	感作性あり	TLVの根拠-臨界作用	EU (2004)	DFG (2004)	PRTR	日本職業・環境アレルギー学会(案)(2004)
141048-13-7		Tetrasodium [7-(2,5-dihydroxy-2-oxo-2-sulfonato-6-[4-(2,5,6-trichloro-pyrimidin-4-ylamino)phenylazo]-N1,N7-N)-1-naphthylazo]-8-hydroxy-8-oxo-1,3,5-trisulfonato(6-)]cuprate(II)	○						○	気道感作性あり 皮膚感作性あり 経皮吸収あり	感作性クラス1	気道感作性あり 皮膚感作性あり 経皮吸収あり
141517-21-7	トルフロキシストロビ	Trifloxystrobin (ISO)							○			
141714-54-7		Diethyl 4-[1,5,5-tris(4-diethylaminophenyl)penta-2,4-dienylidene]cyclohexa-2,5-dienylidene ammonium butyltriphenylborate							○			
141915-64-2		3,5-Bis-(tetradecyloxy-carbonyl) benzenesulfonic acid							○			
142459-58-3		Flufenacet (ISO)							○			
142859-67-4		N-(2-(6-Zethyl-7-(4-methylphenoxy)-1H-pyrazol[1,5-b][1,2,4]triazol-2-yl)propyl)-2-octadecyloxybenzamide							○			
143322-57-0		(R)-5-Bromo-3-(1-methyl-2-pyrrolidinyl methyl)-1H-imide							○			
143468-96-6		Ethyl 2-carboxy-3-(2-thienyl)propionate							○			
143683-23-2		Tetrasodium 1,2-bis(4-fluoro-6-[5-(1-amino-2-sulfonatoanthracinon-4-ylamino)-2,4,6-trimethyl-3-sulfonato-phenylamino]-1,3,5-triazin-2-ylamino)ethane							○			
144736-29-8		α 2-[[[2-Hydroxyethyl)methylamino]acetylaminopropyl]-7-(nonyl-phenoxy)poly[oxo(methyl-1,2-ethane-diy)]							○			
144740-59-0		Methyl 2-aminosulfonyl-6-(trifluoromethyl)pyridine-3-carboxylate							○			
145052-34-2		Bis(2,6-dimethoxybenzoyl)-2,4,4-trimethylpentylphosphine oxide							○			

CAS番号	和 名	英 名	名	日本産業衛生学会 (2006)				ACGIH (2007)		EU (2004)				DFG (2004)				PRTR		日本職業・環境アレルギー学会(案) (2004)			
				経皮 吸収	気道感 作性	皮膚感 作性	経皮 吸収	感作性	TLVの 規制一価 界作用	気道感 作性	皮膚感 作性	気道感 作性	経皮 吸収	経皮 吸収	気道感 作性	皮膚感 作性	気道感 作性	皮膚感 作性	感作性 クラス1	感作性	気道感 作性	皮膚感 作性	感作性
146177-84-6		Sodium 2-(4-(4-fluoro-6-(2-sulfoethylamino)-[1,3,5]triazin-2-ylamino)-2-ureidophenylazo) 5-(4-sulfophenylazo)benzene-1-sulfonate		あり	あり	あり	あり	あり		あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
147027-04-1		A mixture of: <i>trans</i> -(2 <i>R</i>)-5-acetoxy-1,3-oxathiolane-2-carboxylic acids-(2 <i>R</i>)-5-acetoxy-1,3-oxathiolane-2-carboxylic acid																					
147374-67-2		4-(2-Cyano-3-phenylamino)-acryloyloxy-methyl-cyclohexyl-methyl 2-cyano-3-phenylamino-acrylate																					
147703-65-9		Sodium 3-(2-acetamido-4-(4-(2-hydroxybutoxy)phenylazo)phenylazo)benzenesulfonate																					
148732-74-5		Tetrasodium (c-(3-(1-(3-(6-dichloro-5-cyanopyrimidin-yl(methylamino)propyl)-1,6-dihydro-2-hydroxy-4-methyl-6-oxo-3-pyridylazo)-4-sulfonatophenylsulfamoyl)phthalocyanine-3,9,11-trisulfonate-6-yl)nickelatecol																					
148757-89-5		1-Bromo-9-(4,4,5,5,5-pentafluoropentylthio)nonane																					
148878-18-6		A mixture (50/50) of: tetrasodium 7-(4-(4-chloro-6-[methyl-(3-sulfonatophenyl)amino]-1,3,5-triazin-2-ylamino)-2-ureidophenylazo)naphthalene-1,3,6-trisulfonate																					
148878-21-1		Octasodium 2-(6-(4-chloro-6-(3-(<i>N</i> -methyl- <i>N</i> -(4-chloro-6-(3,5-disulfonato-2-naphthylazo)-1-hydroxy-6-naphthylamino)-1,3,5-triazin-2-yl)aminomethyl)phenylamino)-1,3,5-triazin-2-ylamino)-3,5-disulfonato-1-hydroxy-2-naphthylazo)naphthalene-1,5-disulfonate																					

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)	ACGIH (2007)	EU (2004)	DFG (2004)	PRTR	日本職業・環境アレルギー学会 (案) (2004)
			経皮吸収あり 気道感作性あり 皮膚感作性あり	経皮吸収あり 感作性あり TLVの 根拠-臨 界作用	気道感作性あり 皮膚感作性あり	気道および皮膚感作性あり 経皮吸収あり	感作性クラス1 感作性あり	気道感作報告のみあるもの 皮膚感作報告のみあるもの
148878-22-2		Tetrasodium 4-[4-chloro-6-(4-methyl-2-sulphophenylamino)-1,3,5-triazin-2-ylamino]-6-(4,5-dimethyl-2-sulphophenylazo)-5-hydroxynaphthalene-2,7-disulfonate	○					
149057-64-7		Bis[N-(7-hydroxy-8-methyl-5-phenylphenazin-3-ylidene)dimethylammonium]sulfate	○					
149530-93-8		Disodium 1-amino-4-(2-(5-chloro-6-fluoropyrimidin-4-ylaminomethyl)-4-methyl-6-sulphophenylamino)-9,10-dioxo-9,10-dihydroanthracene-2-sulfonate	○					
149850-29-3		1,3-Bis(6-fluoro-4-[1,5-disulfo-4-(3-aminocarbonyl)-1-ethyl-6-hydroxy-4-methylpyrid-2-on-5-ylazo]-phenyl)-2-ylamino]-1,3,5-triazin-2-ylamino]propane lithium-, sodium salt	○					
149850-30-6		Methyl N-[3-acetylamino)-4-(2-cyano-4-nitrophenylazo)phenyl]-N-[[[1-methoxyacetyl]glycinate	○					
149850-31-7		Sodium 1,2-bis[4-[4-(4-sulphophenylazo)-2-ureido-phenyl-amino]-6-fluoro-1,3,5-triazin-2-ylamino]-propane, sodium salt	○					
151435-99-6		Hexasodium di[N-(3-(4-[5-(5-amino-3-methyl-1-phenylpyrazol-4-yl-azo)-2,4-disulfo-anilino]-6-chloro-1,3,5-triazin-2-ylamino)phenyl)-sulfamoyl]di-sulfo]phthalocyaninato]nickel	○					
152828-25-6		2-(4-Aminophenyl)-6-tert-butyl-1H-pyrazolo [1,5-b][1,2,4]triazole	○					
155160-86-4		Sodium 3,5-bis(tetradecyloxy-carbonyl)benzene-sulfinate	○					

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)	ACGIH (2007)	EU (2004)	DFG (2004)	PRTR	日本職業・環境アレルギ学会 (案) (2004)
			経皮吸収あり 気道感作性あり 皮膚感作性あり	経皮吸収あり 気道感作性あり TLVの相乗-効果作用	経皮吸収あり 気道感作性あり 皮膚感作性あり	経皮吸収あり 気道感作性あり 皮膚感作性あり 光過敏性あり	経皮吸収あり 気道感作性あり 皮膚感作性あり 皮膚感作性あり 皮膚感作性あり	経皮吸収あり 気道感作性あり 皮膚感作性あり 皮膚感作性あり 皮膚感作性あり
155522-09-1		1,2-Bis[4-fluoro-6-(4-sulfo-5-(2-(4-sulfonaphthalene-3-ylazo)-1-hydroxy-3,6-disulfo-8-aminonaphthalene-7-ylazo)phenylamino)-1,3,5-triazin-2-ylamino]ethane-x-sodium, γ-potassium salts x = 7.755 y = 0.245	○		○			
155522-12-6		Methyl 2-[4-(2-chloro-4-nitrophenylazo)-3-(1-oxopropyl)amino]phenylaminopropionate	○		○			
156137-33-6		A mixture of: 2-methylsulfonyl-4,6-bis-(2-hydroxy-4-methoxy-phenyl)-1,3,5-triazine	○		○			
156679-41-3		N-Dodecyl-1-[3-(4-dimethylamino)benzamido]-propyl[dimethylammonium tosylate	○		○			
156738-27-1		Sodium 4-[4-(4-hydroxyphenylazo)phenylamino]-3-nitrobenzenesulfonate	○		○			
156769-97-0		Sodium and potassium 4-(3-aminopropylamino)-2,6-bis[3-(4-methoxy-2-sulfo-7-naphthylamino)-1,3,5-triazine	○		○			
157661-93-3		2-Methyl-4-(1,1-dimethylethyl)-6-(1-methylpentadecyl)-phenol	○		○			
158604-94-1		(2,2'-(3,3'-Dioxidobiphenyl-4,4'-diyl)diazobis(6-(4-(3-(diethylamino)propylamino)-6-(3-(diethylammonio)propylamino)-1,3,5-triazin-2-ylamino)-3-sulfonato-1-naphtholato))di-copper(II) acetate lactate	○		○			
161935-19-9		4-[4-Amino-5-hydroxy-3-(4-(2-sulfoxyethylsulfonyl)phenylazo)-2,7-disulfonaphth-6-ylazo]-6-[3-(4-amino-5-hydroxy-3-(4-(2-sulfoxyethylsulfonyl)phenylazo)-2,7-disulfonaphth-6-ylazo)phenyl]carbamoylamino] benzenesulfonic acid, sodium salt	○		○			

CAS番号	和名	英名	名	日本産業衛生学会 (2006)	ACGIH (2007)	EU (2004)	DFG (2004)	PRTR	日本職業・環境アレルギー学会(案)(2004)
				経皮吸収あり	経皮吸収あり	気道感作性あり	経皮吸収あり	感作性クラス1	感作性あり
				気道感作性あり	感作性あり	皮膚感作性あり	気道感作性あり	感作性あり	気道感作報告のみあるもの
				皮膚感作性あり	経皮吸収あり	皮膚感作性あり	皮膚感作性あり	感作性あり	皮膚感作報告のみあるもの
162881-26-7			Phenyl bis(2,4,6-trimethylbenzoyl)-phosphine oxide			○			
163879-69-4			A mixture of: 5-[(4-{[7-amino-1-hydroxy-3-sulfo-2-naphthyl]azo}-2,3-diethoxyphenyl)azo]benzoic acid			○			
166242-53-1			UVCB condensation product of tetrakis-hydroxymethyl phosphonium chloride urea and distilled hydrogenated C16-18 tallow alkylamine			○			
166596-68-5			(3'-Carboxymethyl-5-{2-(3-ethyl-3H-benzothiazol-2-ylidene)-1-methyl-ethylidene)-4,4'-dioxo-2'-thioxo-2,5'}-bithiazolidinyliden-3-yl)-acetic acid			○			
168151-92-6			Sodium 4-sulfophenyl 6-[(1-oxonorilylamino)hexanoate			○			
171599-85-2			N,N'-Bis[6-chloro-4-[(6-(4-vinylsulfonylphenylazo)-2,7-disulfonic acid-5-hydroxynaph-4-ylamino]-1,3,5-triazin-2-yl)-N-(2-hydroxyethyl)ethane-1,2-diamine, sodium salt			○			
172890-93-6			1-Amino-4-(3-[4-chloro-6-(2,5-di-sulphophenylamino)-1,3,5-triazin-2-ylamino]-2,2-dimethylpropylamino)-anthraquinone-2-sulfonic acid, Na/Li salt			○			
172964-15-7			4-Benzyl-2,6-dihydroxy-4-azabenzylene bis(2,2-dimethyloctanoate)			○			
174393-75-0			Potassium 4-[(11-methacrylamido)undecanamido]benzenesulfonate			○			
174591-51-6			A mixture of: tetradecanoic acid (42.5-47.5%)			○			
178961-20-1			S-Metolachlor (R)-2-chloro-N-(2-ethyl-6-methyl-phenyl)-N-(2-methoxy-1-methyl-ethyl)-acetamide (0-20%)			○			

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)	ACGIH (2007)	EU (2004)	DFG (2004)	PRTR	日本職業・環境アレルギー学会(案) (2004)
187547-46-2			経皮吸収あり 気道感作性あり 皮膚感作性あり	経皮吸収あり TLVの根拠-臨界作用あり 感作性あり	気道感作性あり 皮膚感作性あり 気道および皮膚感作性あり	緑皮吸収あり 気道感作性あり 皮膚感作性あり	感作性クラス1	感作性あり 気道感作報告のみあるもの 皮膚感作報告のみあるもの
		A mixture of: 2,4,6-tri(butylcarbamoyl)-1,3,5-triazine			○			
		Alkali persulfates						
		Amylases with the exception of those specified elsewhere in this Annex			○			
	動物の毛,上皮	Animal hair, epithelia and other materials derived from animals						
	シアン化合物	Cyanides				○		
		Salts of aniline			○			
	アリル水銀化合物	Mercury, Aryl compounds (organic compounds), as Hg	○(1)	○		○		
	アルキル水銀化合物	Mercury, Alkyl compounds (organic compounds), as Hg	○(1)	○		○		
	大豆成分	Soya bean constituents				○		
	ジルコニウム,水溶性化合物	Zirconium, soluble compounds					○	
	ジチオカルバマート系	Rubber components :Dithiocarbamates					○	
	p-フェニレンジアミン化合物	Rubber components: p-Phenylenediamine compounds					○	
	チアゾール	Rubber components: Thiazoles					○	
	チウラム系	Rubber components: Thiurams					○	
	タングステン可溶性化合物	Tungsten, soluble compounds, as W		刺激				
	タングステンおよびその水溶性化合物 (水溶性化合物)	Tungsten, soluble compounds, as W		刺激				
	鉄水溶性塩	Iron salts, soluble, as Fe		刺激				
	ロジウムおよびその化合物 (水溶性化合物)	Rhodium, Soluble compounds, as Rh		刺激				
	穀粉 (小麦, 大麦)	Ricinus protein Flour dust(DFG では Cereal flour dusts (Rye,Wheat) と表記)		○ 喘息, 気管支炎			○ ○	

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)	ACGIH (2007)			EU (2004)			DFG (2004)			PRTR		日本職業・環境アレルギー学会(案)(2004)	
				経皮吸収あり	気道感作性あり	皮膚感作性あり	経皮吸収あり	感作性あり	TLVの根拠-臨界作用	気道感作性あり	皮膚感作性あり	気道および皮膚感作性あり	経皮吸収あり	気道感作性あり	感作性あり	感作性クラス1
	穀粉 (カラスムギ*、小麦、大麦)	Grain dust (oat, wheat, barley)		あり	あり	あり	あり	あり	刺激、気管支炎	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
	ベンガラ	Rouge							刺激							
	ステアリン酸塩	Stearates (J)							刺激							
	合成ガラス質繊維ファイラメント状ガラス繊維	Synthetic vitreous fibers continuous filament glass fibers							刺激							
	合成ガラス質繊維グラスウール	Synthetic vitreous fibers glass wool fibers							刺激							
	合成ガラス質繊維ロックウール	Synthetic vitreous fibers rock wool fibers							刺激							
	合成ガラス質繊維スラグウール	Synthetic vitreous fibers slag wool fibers							刺激							
	合成ガラス質繊維特殊用途ガラス繊維	Synthetic vitreous fibers special purpose glass fibers							刺激							
	木粉、ブナ、オーク	Wood dust, Certain hard woods as beech & oak							刺激、皮膚炎							
	木粉、軟材	Wood dust, Softwood							刺激、皮膚炎							
	クロルヘキシジン													○	○	
	ジアソニウム													○	○	
	4,4'-ジアミノジフェニルメタン															○
	ブリカット酸															
	ヘベイン (ラテックス抗原)	Hevein												○	○	
	Formaldehyde condensation products with <i>p</i> -tertiaryphenol(low-molecular)											○				
	α -Chlorinated toluenes : mixture of Benzoyl chloride[98-89-4], Benzyl chloride[100-44-7], Benzyl dichloride[98-87-3], Benzyl trichloride[98-7-7]											○				
	Hard metal containing tungsten carbide and cobalt (inhalable fraction)											○				
	Oakmoss extracts															○
	Hydrazine bis(3-carboxy-4-hydroxybenzenesulfonate)															○

CAS番号	和 名	英 名	名	日本産業衛生学会 (2006)	ACGIH (2007)	EU (2004)	DFG (2004)	PRTR	日本職業・環境アレルギー学会(案)(2004)	皮膚感作 報告のみ あるもの
			Sodium 3,5-bis(3-(2,4-di-tert-pentylphenoxy)propylcarbamoyl)benzenesulfonate	経皮吸収あり 気道感作性あり 皮膚感作性あり	経皮吸収あり 感作性あり TLVの 相関-磁 界作用	気道感作性あり 皮膚感作性あり	経皮吸収あり 気道感作性あり 皮膚感作性あり	感作性 クラス1	感作性 あり	皮膚感作 報告のみ あるもの
			1,6-Bis(3,3-bis(1-methylpentylidenimino)propyl)ureido)	○		○	○			
			α -[3-(1-Oxoprop-2-enyl)-1-oxopropyl]dimethoxysilylox y- ω -[3(1-oxoprop-2-enyl)-1-oxopropyl]dimethoxysilyl	○		○	○			
			Tributyltetradecylphosphonium tetrafluoroborate	○		○	○			
			Tetrasodium 5-(4,6-dichloro-5-cyanopyrimidin-2-ylamino)-4-hydroxy-2,3'-azodinaaphthalene-1,2',5,7'-disulphonate	○		○				
			Tetrasodium 2-(6-chloro-4-(2,5-dimethyl-4-(2,5-disulphonatophenylazo)phenylazo)-3-ureidoanilino)-1,3,5-triazin-2-ylamino)benzene-1,4-disulphonate	○		○				
			Dilithium 6-acetamido-4-hydroxy-3,4-(4-(2-sulphonatooxy)ethylsulphonyl)phenylazo)naphthalene-2-sulphonate	○		○				
			Disodium <i>S,S'</i> -hexane-1,6-diylidithiosulphate dihydrate	○		○				
			Potassium sodium 5-(4-chloro-6-(<i>N</i> -(4-(4-chloro-6-(5-hydroxy-2,7-disulphonato-6-(2-sulphonatophenylazo)-4-naphthylamino)-1,3,5-triazin-2-ylamino)phenyl-N-methylamino)-1,3,5-triazin-2-ylamino)-4-hydroxy-3-(2-sulphonatophenylazo)naphthalene-2,7-disulphonat	○		○				
			(C16 or C18- <i>n</i> -Alkyl)(C16 or C18- <i>n</i> -alkyl)ammonium 2-(C16 or C18- <i>n</i> -alkyl)(C16 or C18- <i>n</i> -alkyl)carbamoyl)benzenesulphonate	○		○				
			Sodium 4-(2,4,4-trimethylpentylcarbonyloxy)benzenesulfonate	○		○				

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)	ACGIH (2007)	EU (2004)	DFG (2004)	PRTR	日本職業・環境アレルギ学会 (案) (2004)
			経皮吸収あり 気道感作性あり 皮膚感作性あり	経皮吸収あり 感作性あり TLVの根拠不明 昇作用	気道感作性あり 皮膚感作性あり	気道および皮膚感作性あり 皮膚感作性あり	感作性クラス1	気道感作報告のみあるもの 感作性ありあるもの
		Tetrasodium 4-amino-3,6-bis(5-(6-chloro-4-(2-hydroxyethylamino)-1,3,5-triazin-2-ylamino)-2-sulfonatophenylazo)-5-hydroxynaphthalene-2,7-sulfonate (containing > 35% sodium chloride and sodium acetate)			○			
		Thionyl chloride, reaction products with 1,3,4-thiadiazol-2,5-dithiol, <i>tert</i> -nonanethiol and C12 14- <i>tert</i> -alkylamine			○			
		6-Fluoro-2-methyl-3-(4-methylthiobenzyl)indene			○			
		Hexahydrocyclopenta[c]pyrrole-1-(1H)-anmonium <i>N</i> -ethoxycarbonyl- <i>N</i> -(<i>p</i> -tolylsulfonyl)azide			○			
		Trisodium bis[(3'-nitro-5'-sulfonato(6-amino-2-[4-(2-hydroxy-1-naphthylazo)phenylsulfonylamino]pyrimidin-5-azo)benzene-2',4'-diolate)]chromate (III)			○			
		Diamminediscyanatozinc					○	
		2-Hydroxyethylammonium perbromide			○			
		Diphenyl(4-phenylthiophenyl)sulfonium hexafluoroantimonate			○			
		Tetrachloroplatinates with the exception of those specified elsewhere in this Annex					○	
		Hexachloroplatinates with the exception of those specified elsewhere in this Annex					○	
		Di- <i>L</i> -para-menthene						○
		(Ethyl-1,2-ethanediyl)-2-[[[(2-hydroxyethyl)methylamino]acetyl]-propyl]ω-(nonylphenoxy)poly[oxy-(methyl-1,2-ethanediyl)]			○			
		2-Chloro-4,5-difluorobenzoic acid						○

CAS番号	和 名	英 名	名	日本産業衛生学会 (2006)	ACGIH (2007)	EU (2004)	DFG (2004)	PRTR	日本職業・環境アレルギー学会(案) (2004)
				経皮 吸収 あり 気道感 作性 あり 皮膚感 作性 あり	経皮 吸収 あり 感作性 あり TLVの 規制-種 異作用	気道感 作性 あり 皮膚感 作性 あり	経皮 吸収 あり 気道感 作性 あり 皮膚感 作性 あり	感作性 クラス1	感作性 あり 気道感 作性 あり 皮膚感 作性 あり 報告のみ あるもの
			1,1'-(1,3-Phenylenedioxy)bis (3-(2-(prop-2-enyl)phenoxy)propan-2-ol)	○					
			4-Nonylphenol, reaction products with formaldehyde and dodecane-1-thiol	○					
			2-n-Hexadecylhydroquinone	○					
			2,4-Dimethyl-6-(1-methylpentadecyl)phenol	○					
			2-n-Butyl benzo[d]isothiazol-3-one	○					
			2-Chloro-5-sec-hexadecylhydroquinone	○					
			Dimethyl (3-methyl-4-(5-nitro-3-ethoxycarbonyl-2-thienylazo)phenyl)nitridipropionate	○					
			Methyl 3-sulphamoyl-2-thenoate	○					
			Hydrogen sodium N-carboxylatoethyl-N-octadec-9-enylmaleamate	○					
			Poly(oxypropylene)carbonyl-co-oxy(ethylene)carbonyl, containing 27% hydroxyvalerate	○					
			2-Ethoxyethyl-2-[4-(2,6-dihydro-2,6-dioxo-7-phenyl-1,5-dioxandacen-3-yl)phenoxy]acetate	○					
			6-Docosyloxy-1-hydroxy-4-(1-(4-hydroxy-3-methylphenanthren-1-yl)-3-oxo-2-oxaphenalen-1-yl)naphthalene-2-carboxylic acid	○					
			Sodium 2-benzoyloxy-1-hydroxyethane-sulfonate	○					
			2-(Trimethylammonium)ethoxycarboxybenzene-4-sulfonate	○					

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)			ACGIH (2007)		EU (2004)		DFG (2004)		PRTR		日本職業・環境アレルギー学会(案)(2004)
			結皮 吸収 あり	気道感 作性 あり	皮膚感 作性 あり	結皮 吸収 あり	感作性 あり	TLVの 相乗・協 界作用	気道感 作性 あり	皮膚感 作性 あり	結皮 吸収 あり	気道感 作性 あり	皮膚感 作性 あり	
		Trisodium [2-(5-chloro-2,6-difluoropyrimidin-4-ylamino)-5-(6-sulfamoyl- <i>c,d</i> -sulfonatophthalocyanin- <i>a</i> -yl)- <i>K</i> 4,N29,N30,N31,N32-sulfonylamino]benzoate(5-) jeuprate(II) where <i>a</i> = 1,2,3,4							○					
		Magnesium bis((<i>R</i>)-2-(2,4-dichlorophenoxy)propionate)							○					
		Potassium <i>N</i> -(4-fluorophenyl)glycinate							○					
		Mono[2-(dimethylamino)ethyl]-monohydrogen-2-(hexadec-2-enyl)butanedioate and/or							○					
		Poly-(methyl methacrylate)-co-(butylmethacrylate)-co-(4-acryloxybutyl-isopropenyl- <i>alpha</i> ... <i>alpha</i> -dimethylbenzyl carbamate)-co-(maleicanhydride)							○					
		Esters of mecoprop and of mecoprop-P							○					
		3-(4-Aminophenyl)-2-cyano-2-propenoic acid							○					
		Bis(dimethyl-(2-hydroxyethyl)ammonium) 1,2-ethanediyl-bis(2-hexadecenylsuccinate)							○					
		(+/-)- α -(2-Acetyl-5-methylphenyl)-amino]-2,6-dichlorobenzene-aceto-nitrile							○					
		2'-(2-Cyano-4,6-dinitrophenylazo)-5'-(<i>N,N</i> -dipropylamino)propionanilide							○					
		2-(4-(Diethylaminopropyl-carbamoyl)phenylazo)-3-oxo- <i>N</i> -(2,3-dihydro-2-oxobenzimidazol-5-yl)butyramide							○					
		Tetraammonium 5-(4-(7-amino-1-hydroxy-3-sulfonato-2-naphthylazo)-6-sulfonato-1-naphthylazo)isophthalate							○					

CAS番号	和名	英名	日本産業衛生学会 (2006)			ACGIH (2007)			EU (2004)			DFG (2004)			PRTR	日本職業・環境アレルギー学会(家) (2004)		
			経皮 吸収	気道感 作性	皮膚感 作性	経皮 吸収	感作性 あり	TLVの 根拠-臨 界作用	気道感 作性	皮膚感 作性	気道およ び皮膚感 作性	経皮 吸収	気道感 作性	皮膚感 作性	感作性 クラス1	感作性 あり	気道感作 報告のみ あるもの	皮膚感作 報告のみ あるもの
		4-Dimethylaminobenzene- diazonium 3-carboxy-4- hydroxybenzenesulfonate	あり	あり	あり	あり	あり		あり	あり								
		Sodium 7-(4,6-dichloro-1,3, 5-triazin-2-ylamino)-4- hydroxy-3-(4-(2- (sulfonatooxyethyl)sulfonyl) phenylazo)							○									
		2-(4-(5,6(or 6,7)-Dichloro-1,3- benzothiazol-2-ylazo)-N- methyl-m-toluidino)ethyl acetate							○									
		Sodium 5-[5-[4,6-chloro-2, 6-difluoropyrimidin-4- ylamino]benzimidol-2- sulfonatophenylazo]-1-ethyl- 6-hydroxy-4-methyl-2-oxo-3- pyridylmethylsulfonate							○									
		2-(4-Chloro-3-cyano-5- formyl-2-thienylazo)-5- diethylaminoacetanilide							○									
		Trisodium(1-(3-carboxylato- 2-oxido-5- sulfonatophenylazo)-5- hydroxy-7- sulfonatophthalen-2- amido)nickel(II)							○									
		Potassium sodium 4-(4- chloro-6-(3,6-disulfonato-7- (5,8-disulfonato-naphthalen- 2-ylazo)-8-hydroxy- naphthalen-1-ylamino)-1,3,5- triazin-2-ylamino)-5- hydroxy-6-(4-(2- sulfatoethanesulfonyl)- phenylazo)-naphthalene-1,7- disulfonate							○									
		Sodium 2-[[4-(2- chloroethylsulfonyl]phenyl]- [[2-hydroxy-5-sulfo-3-[3-(2- (2-(sulfooxyethyl)sulfonyl) ethylazo]-4-sulfobenzoato(3-) cuprate(1-)							○									
		Tetrasodium 4-hydroxy-5-[[4- [3-(2-sulfatoethanesulfonyl) phenylamino]-6-morpholin- 4-yl-1,3,5-triazin-2-ylamino]- 3-(1-sulfonatophthalen-2- ylazo)naphthalene-2,7- disulfonate							○									

CAS番号	和名	英名	名	日本産業衛生学会 (2006)	ACGIH (2007)	EU (2004)	DFG (2004)	PRTR	日本職業・環境アレルギー学会(案)(2004)	アレルギーレポート
				経皮吸収あり 気道感作性あり 皮膚感作性あり	TLVの根拠-臨界作用 感作性あり	気道感作性あり 皮膚感作性あり	経皮吸収あり 気道感作性あり 皮膚感作性あり	感作性クラス1	感作性あり	気道感作性あり 皮膚感作性あり 報告のみあるもの
		Pentasodium 4-amino-6-(5-(4-(2-ethyl-phenylamino)-6-(2-sulfatoethanesulfonyl)-1,3,5-triazin-2-ylamino)-2-sulfonatophenylazo)-5-hydroxy-3-(4-(2-sulfatoethanesulfonyl)phenylazo)naphthalene-2,7-disulfonate		○						
		Polyethylenepolyamines with the exception of those specified elsewhere in this Annex		○						
		4-(2-Chloro-4-trifluoromethyl)-phenoxy-2-fluoroaniline hydrochloride		○						
		R,R-2-Hydroxy-5-(1-hydroxy-2-(4-phenylbut-2-ylamino)ethyl)benzamide hydrogen 2,3-bis(benzoyloxy)succinate		○						
		(2,1-Benzof)thien-2-yl-ethanone oxime hydrochloride		○						
		5-Acetyl-3-amino-10,11-dihydro-3H-di-benz[b,f]azepine-hydrochloride		○						
		4-Chlorophenyl cyclopropyl ketone		○						
		2-Naphthylamino-6-sulfomethylamide		○						
		4-(1(or 4 or 5 or 6)-Methyl-8,9,10-trimorborn-5-en-2-yl)pyridine, mixture of isomers		○						
		2-(4-(3-(4-Chlorophenyl)-2-pyrazolin-1-yl)phenylsulfonyl)ethyl/dimethylammonium formate		○						
		2,9-Bis(3-(diethylamino)propylsulfonyl)quino(2,3-b)acridine-7,14-dione		○						

CAS番号	和名	英名	名	日本産業衛生学会 (2006)	ACGIH (2007)	EU (2004)	DFG (2004)	PRTR	日本職業・環境アレルギ- 学会(案)(2004)
				経皮吸収あり 気道感作性あり 皮膚感作性あり	経皮吸収あり 感作性あり TLVの根拠-融 界作用	気道感作性あり 皮膚感作性あり	経皮吸収あり 気道感作性あり 皮膚感作性あり	感作性 クラス1	気道感作報告のみあるもの 皮膚感作報告のみあるもの
			Tetrapotassium 2-(4-(5-(1-(2,5-disulfonatophenyl)-3-ethoxycarbonyl-5-hydroxypyrazol-4-yl)penta-2,4-dienylidene)-3-ethoxycarbonyl-5-oxo-2-pyrazolin-1-yl)benzene-1,4-disulfonate	○					
			trans-N-Methyl-2-styryl-[4-(aminomethine-(1-acetyl-1-(2-methoxyphenyl)acetamido)]pyridinium acetate	○					
			Nitritotriethyleneaminopropane-2-ol	○					
			(+/-)-[(R*,R*)and(R*,S*)]-6-fluoro-3,4-dihydro-2-oxiranyl-2H-1-benzopyran	○					
			2,5-Bis-isocyanatomethyl-bicyclo[2.2.1]heptane	○					
			N-Hexadecyl(or octadecyl)-N-hexadecyl(or octadecyl)benzamide	○					
			Tris(2-(2-hydroxyethoxy)ethyl)ammonium 3-acetoacetamido-4-methoxybenzenesulfonate	○					
			Condensation product of:3-(7-carboxyhept-1-yl)-6-hexyl-4-cyclo-hexene-1,2-dicarboxylic acid with polyamines (primarily aminoethylpiperazine and triethylenetetramine)	○					
			N-[2-(3-Acetyl-5-nitrothiophen-2-ylazo)-5-diethylaminophenyl]acetamide	○					

引用文献

1. 日本産業衛生学会許容濃度等に関する委員会(2006): 許容濃度等の勧告(2006年度). 産業衛生学雑誌48(4): 98-123
2. American Conference of Governmental Industrial Hygienists(2007): 2007TLVs® and BEIs®. ACGIH, Cincinnati, OH pp 1-89
3. European Union(2002): EU, Council Directive 67/548/EEC Annex I, The sensitization (the 7th edition), http://europa.eu.int/comm/environment/dansub/home_en.htm.
4. 日本化学物質安全・情報センター(JETOC)(2004): EU危険な物質のリスト. 第7版. 日本化学物質安全・情報センター(JETOC), 東京pp45-354
5. Deutsche Forschungsgemeinschaft (2004): List of MAK and BAT Value 2004, Commission for the investigation of health hazards of chemical compounds in the work area. Report 40. Wiley-VCH Verlag GmbH & Co. KGaA. Weinheim, Bonn, pp159-172
6. 化学工業日報社(2001): 化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ. 改訂版. 化学工業日報社, 東京 pp1-1024
7. Murakami T, Oyama T, Isse T, Ogawa M, Sugie T & Kawamoto T (2007): International comparison of criteria for evaluating sensitization of PRTR-designated chemical substances. Environ Health Prev Med 12: 56-65
8. Ogawa M, Oyama T, Isse T, Yamaguchi T, Murakami T, Endo Y & Kawamoto T (2006): Hemoglobin adducts as a marker of exposure to chemical substances, especially PRTR class I designated chemical substances. J Occup Health 48: 314-328
9. 日本職業・環境アレルギー学会職業性アレルギー疾患の予防のガイドライン作成特設委員会(2004): 中間報告「職業性アレルギー疾患の予防のガイドライン(案)」「GHS準拠の感作性化学物質リスト(案)」作成. 日本職業・環境アレルギー学会雑誌 12: 93-116
10. 中村 晋(2004): 職業アレルギーの本質. アレルギー・免疫 11:581-589
11. 佐藤 一博, 日下 幸則(2004): 職業性アレルギーの疫学調査. アレルギー・免疫 11: 655-660

International Comparison of Sensitizing Chemical Substances

Tomoe MURAKAMI^{1,2}, Tsunehiro OYMA¹, Toyohi ISSE¹, Rie NARAI^{1,3},
Maki KANAOKA^{1,4}, Thi-Thu-Phuong PHAM¹, Toshihiro KAWAMOTO¹

¹ *Department of Environmental Health, School of Medicine, University of Occupational and Environmental Health Japan. Yahatanishi-ku, Kitakyushu 807-8555, Japan*

² *Kashima Steel Works, Sumitomo Metals. Kashima, Ibaragi 314-0014, Japan*

³ *Health Promotion Center, Mazda Motor Corporation. Fucyu, Hiroshima 730-8670, Japan*

⁴ *Nursing Course, Department of Health Science, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, Fukuoka 812-8582, Japan*

Abstract : Some occupational and environmental chemicals cause allergic diseases. To prevent chemical allergies, it is essential to identify the chemical substances that cause sensitization and to eliminate such sensitizers from daily life. As an occupational countermeasure, information for evaluating sensitization of chemical substances is needed. The aims of this article are to compare the criteria for sensitizers among national organizations in various countries and international organizations, and to make out a list of these chemical substances. The definition of sensitizing chemicals and the designation of respective sensitizers according to the PRTR law, Japan Society for Occupational Health (JSJO), American Conference of Governmental Industrial Hygienists (ACGIH), European Union (EU), Deutsche Forschungsgemeinschaft (DFG) and Japanese Society of Occupational and Environmental Allergy were studied. There are 1,389 chemical substances which are designated as sensitizers by any of the laws and five organizations. We specify each chemical substance in the list.

Key words : sensitizer, allergy, occupational health, PRTR, international comparison

JUOEH 29 (3) : 303–388 (2007)